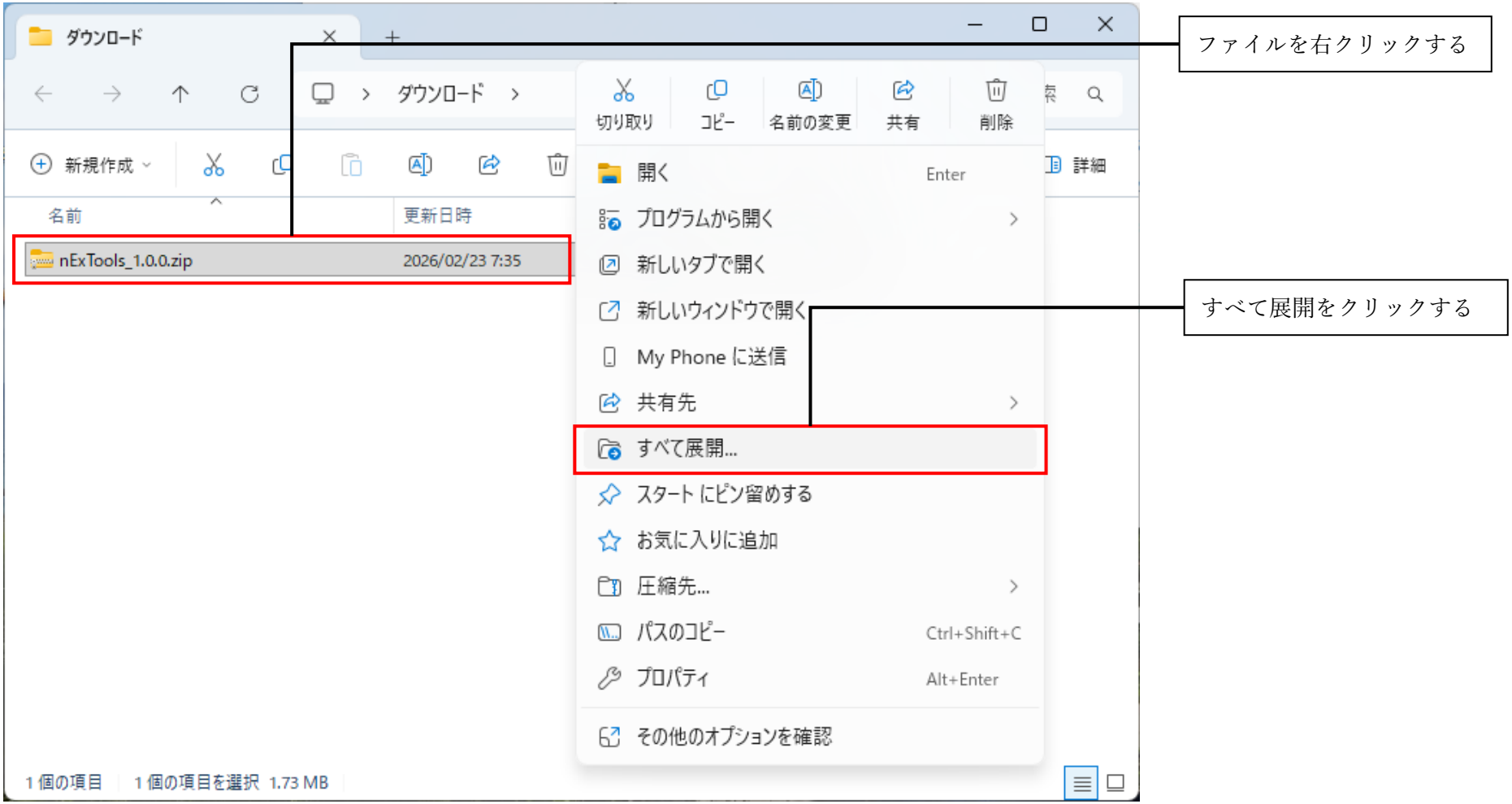
nExTools アドイン マニュアル

この度は nExTools（ネクスツールズ）アドイン をダウンロードいただきありがとうございました。
このアドインは、Excel の作業効率を高める１５０以上の様々な機能を凝縮した無料の Excel アドインです(Windows 用)。
一つの機能だけでなく、機能を組み合わせることで作業効率がグンと高まることでしょう！
有効にご活用いただけると幸いです。

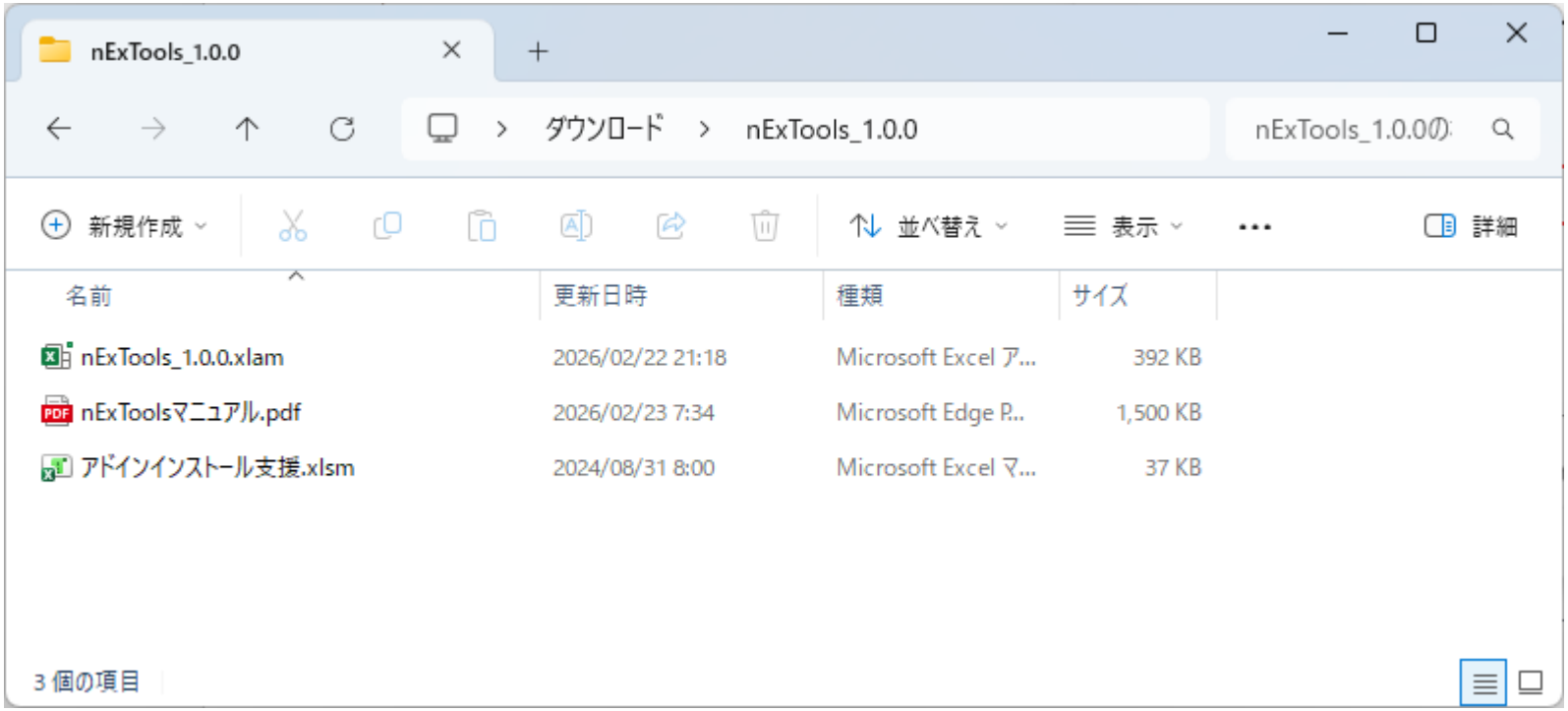
■アドインの使用手順 3
■各機能紹介・画面説明 9
《シート選択》 9
《セル選択》 13
《領域移動》 19
《領域リサイズ》 20
《アドレスコピー》 21
《書式・編集》 22
《シート名》 26
《シート表示》 30
《シート保護》 31
《パスワード》 34
《値検索》 36
《色検索》 38
《文字列に色設定》 40
《重複データ》 42
《共通データ》 43
《画像保存》 45
《ファイル》 47
《フォルダ》 49
《オプション》 52
■アドインマネージャー 54
■バージョン情報・免責・問い合わせ等 55

■アドインの使用手順

① ダウンロードした nExTools_1.0.0.zip ファイルを展開する ※バージョン 1.0.0 の例です 他のバージョンであっても操作手順は同様です



zip ファイルを展開すると nExTools_1.0.0 フォルダが表示され 3 つのファイルが入っています。



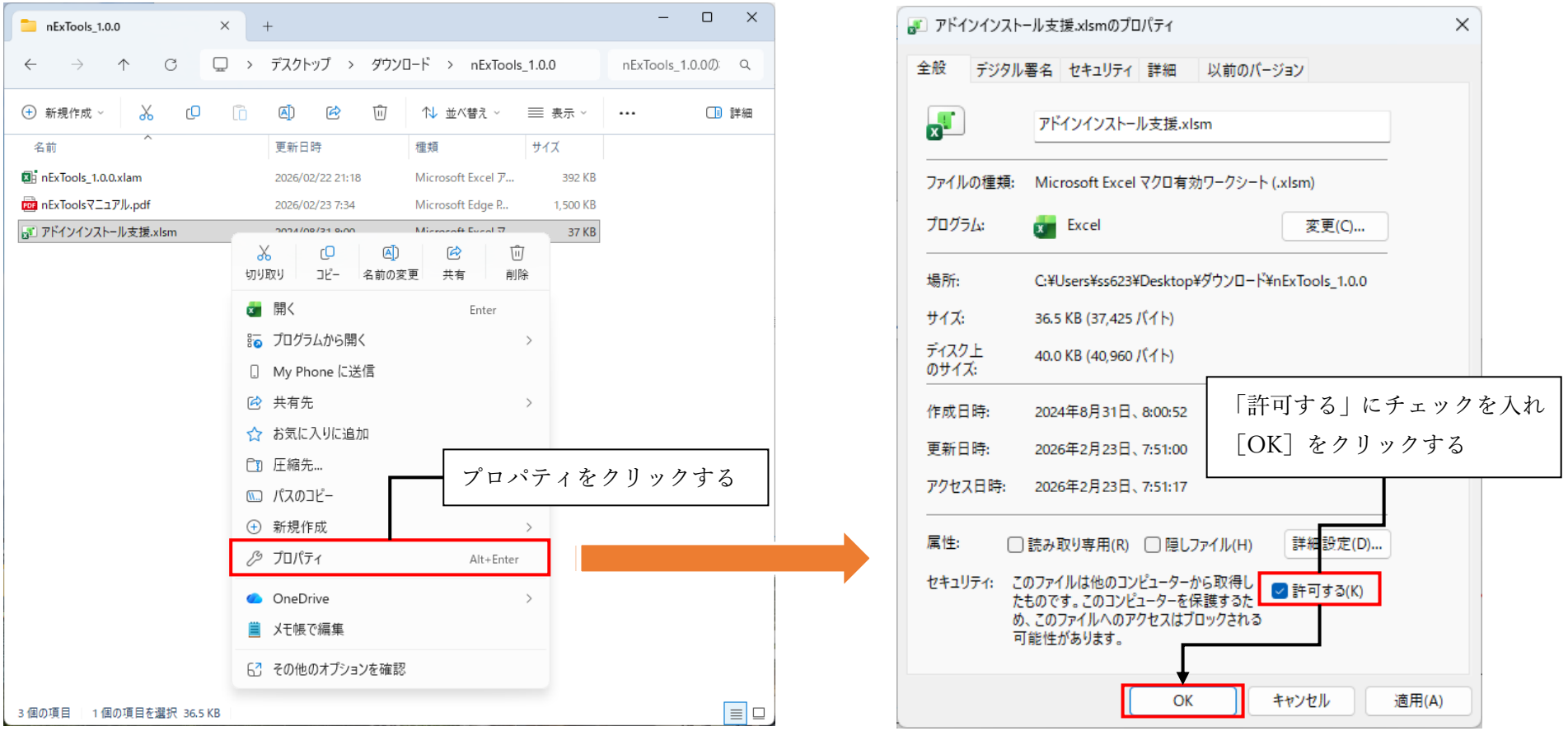
② 展開したファイルのセキュリティ設定を許可する

「アドインインストール支援.xlsm」ファイルを右クリックし メニューのプロパティをクリックするとプロパティウィンドウが表示されます。

［全般］タブの下部に、セキュリティ項目があります。この項目の「許可する」チェックボックスにチェックを入れ、［OK］ボタンをクリックします。

同様に「nExTools_1.0.0.xlam」ファイルのセキュリティ設定を許可します。

（※ ご使用の環境によっては、セキュリティ項目が表示されないことがあります。その場合は、次のステップに進んでください）

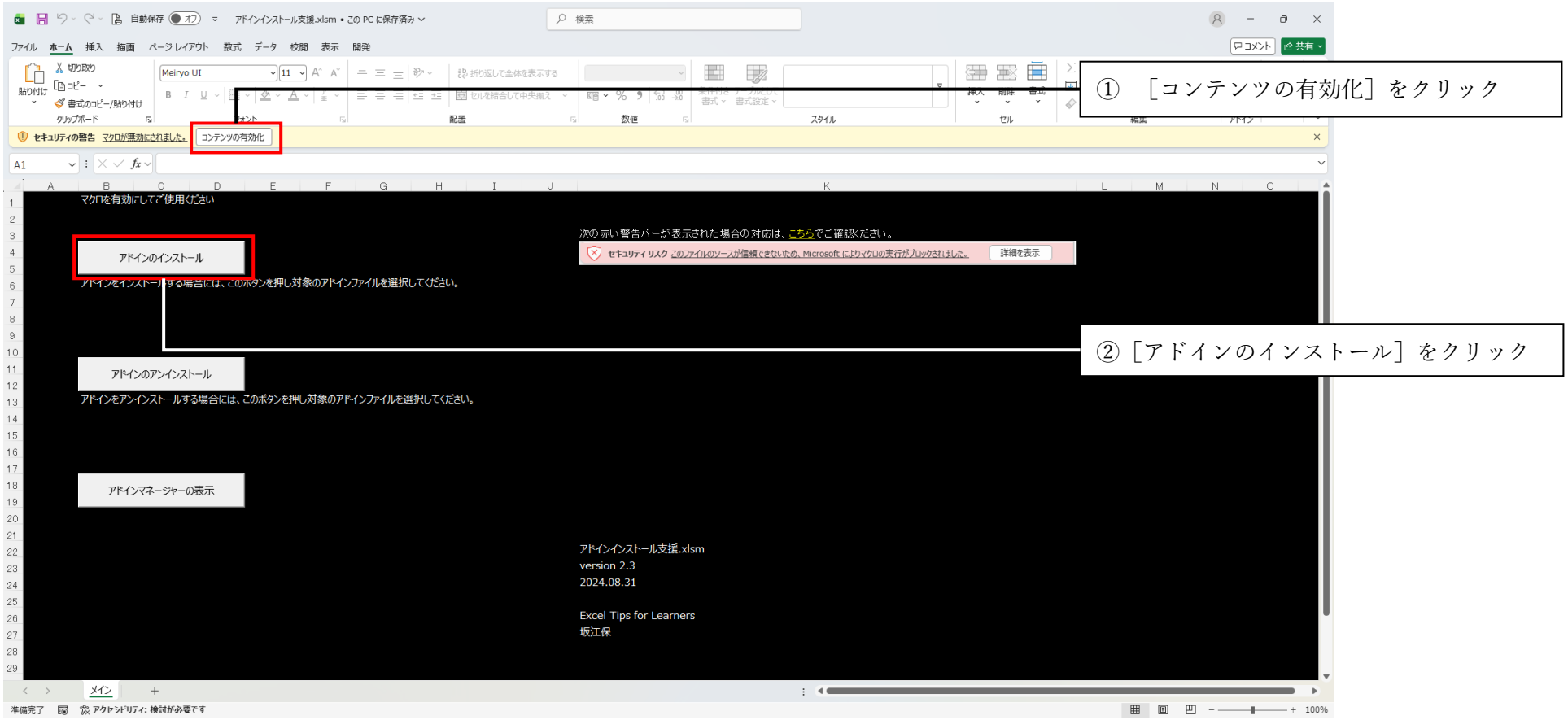


③ アドインのインストールと組み込み

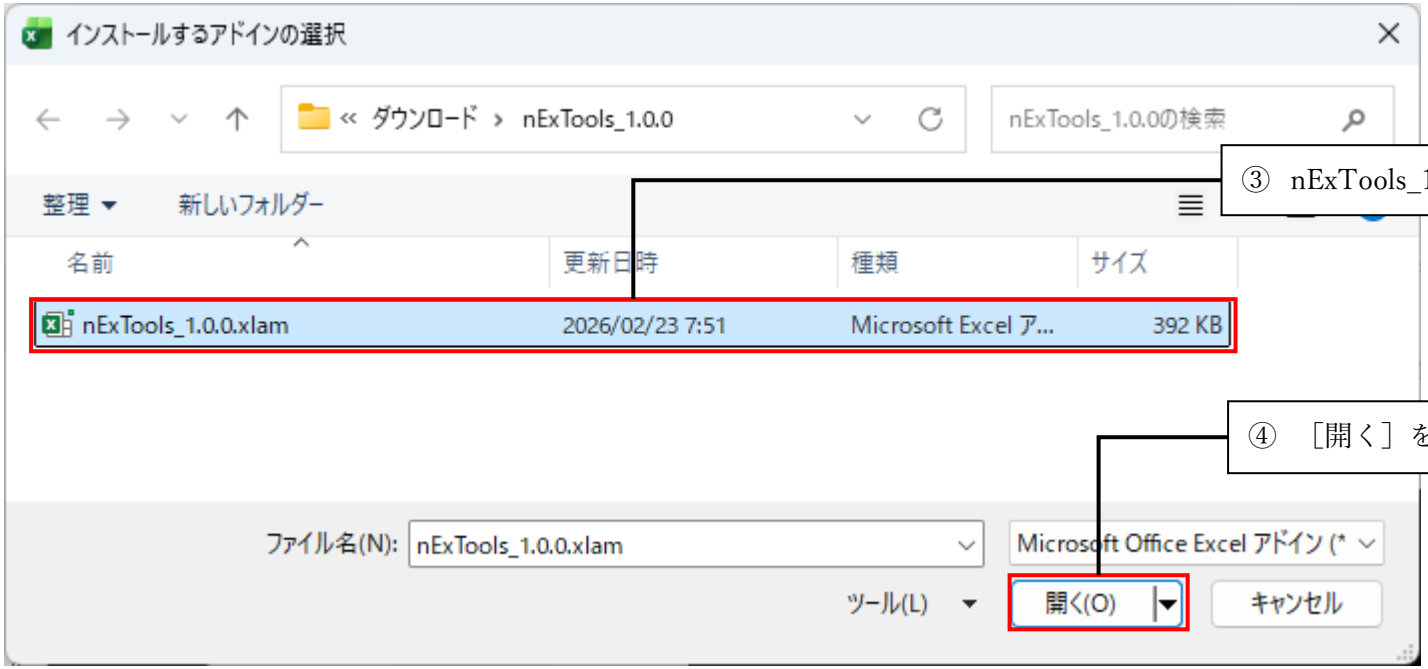
「アドインインストール支援.xlsm」を開きます。

セキュリティの警告の黄色のバーが表示されたら［コンテンツを有効］をクリックしてください。

［コンテンツを有効］にした後に［アドインのインストール］ボタンをクリックすると、「インストールするアドインの選択」ダイアログボックスが表示されます。

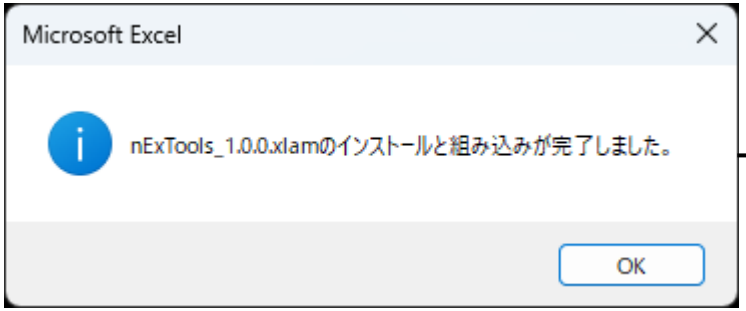


「インストールするアドインの選択」ダイアログボックスで「nExTools_1.0.0.xlam」を選択し、「開く」をクリックすると、アドインのインストールと組み込みが完了します。



③ nExTools_1.0.0.xlam を選択する

④ ［開く］をクリックする



⑤ 数秒待つと、インストール完了メッセージが表示される

アドインのインストールと組み込みが完了すると、リボンに［nExTools］タブが表示されます。

［nExTools］タブのメニュー（Excel のバージョンによってアイコンの形状が異なる場合があります）



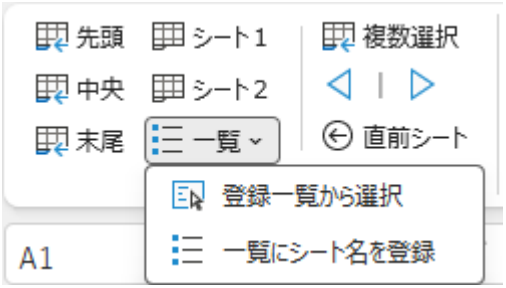
nExTools アドインがインストールされ組み込まれたら、アドインインストール支援.xlsm は終了して構いません。

アドインは組み込みを解除しない限り、Excel を起動すると自動的にアドインも起ちあがります。
アドインの組み込みの解除は、アドインマネージャーで行います。

※アドインをアンインストールする場合には、アドインインストール支援.xlsm の［アドインのアンインストール］ボタンをクリックし、表示される説明に従って操作してください。

■各機能紹介・画面説明

《シート選択》



コマンド	説明
最初のシート	アクティブブックの表示されている最初のシートを選択します。
中央のシート	アクティブブックの表示されている中央のシートを選択します。 表示されているシートの数が 偶数の場合は 表示シート数を 2 で割った数値に位置する シートを選択します。
最後のシート	アクティブブックの表示されている最後のシートを選択します。
登録シート１	１つ目に登録しているシート名のシートを選択します。 シート名の登録は［登録一覧］＞［一覧にシート名を登録］から行います。
登録シート２	２つ目に登録しているシート名のシートを選択します。 シート名の登録は［登録一覧］＞［一覧にシート名を登録］から行います。
登録一覧から選択	登録したシート名の一覧を表示し その一覧で選んだシートを選択します。
一覧にシート名を登録	シート名を登録するフォームを表示します。 登録フォームではシート名を １０ シート分登録できます。

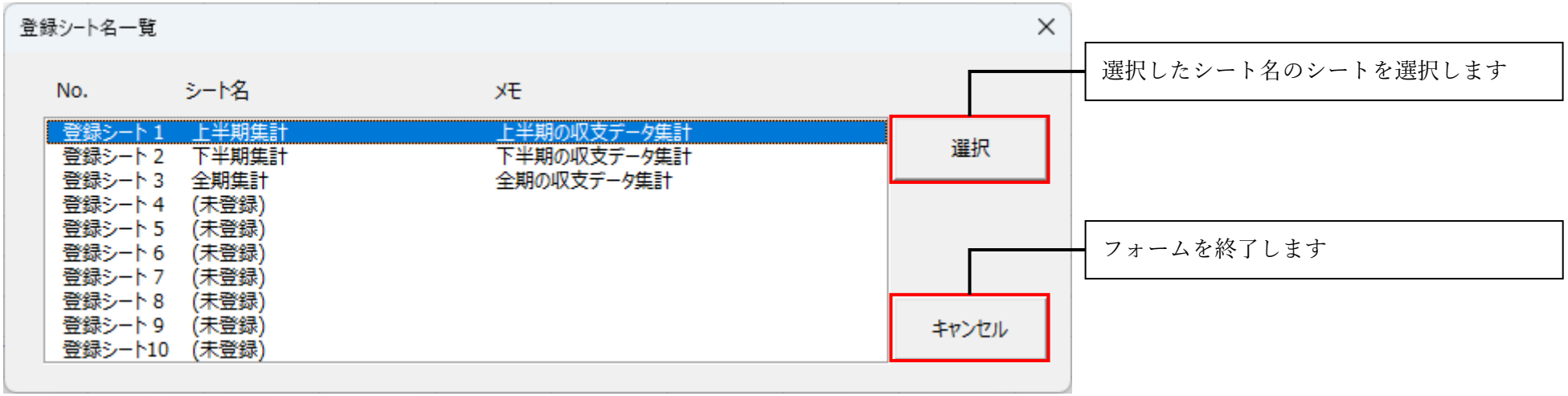
複数選択	表示シート一覧フォームを表示します。一覧フォームで 選択したシートをまとめて選択できます。
◀（前のシート）	表示されている 1 つ前のシートを選択します。 非表示のシートは飛ばし、前に表示されているシートがない場合は何もしません。
▶（次のシート）	表示されている次のシートを選択します。 非表示のシートは飛ばし、次に表示されているシートがない場合は何もしません。
直前シート	直前に選択していたシートを選択します。 別のブックのシートにも戻れ、続けて実行すると元のシートとの間を行き来します。

●登録シート名一覧フォーム

［登録一覧から選択］コマンドをクリックすると表示されるフォームです。

登録しているシート名を一覧から選び［選択］ボタンをクリックすると対象シートを選択します。

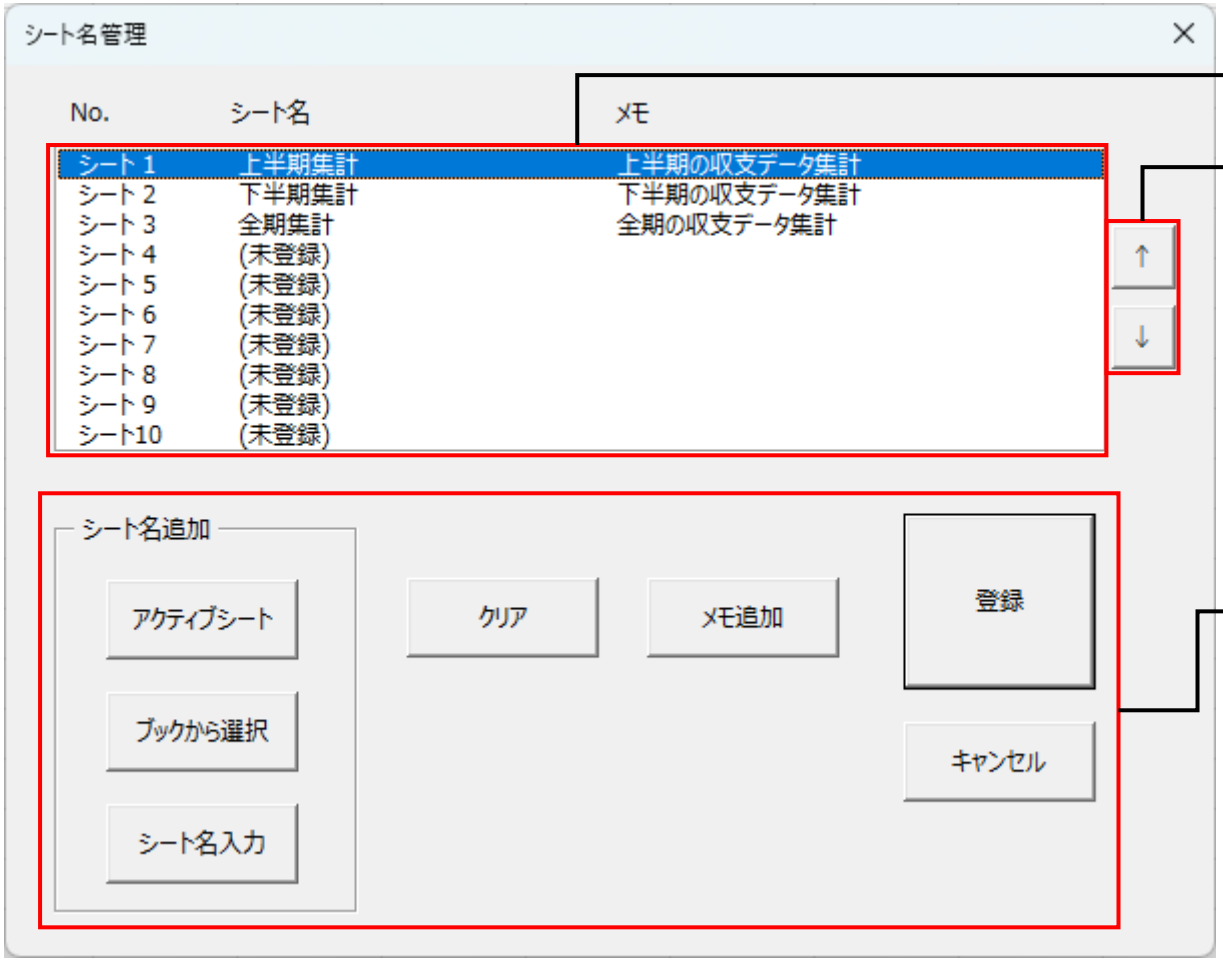
アクティブブックに対象のシート名のシートが存在しない場合には 対象のシートが存在しないむねのメッセージが表示されます。



●シート名管理フォーム

［一覧にシート名を登録］コマンドをクリックすると表示されるフォームです。このフォームでシート名の登録・編集・クリアを行います。

このフォームで登録した［登録シート１］と［登録シート２］は、［登録シート１］コマンド、［登録シート２］コマンドに対応するシート名になります。



登録情報表示エリア

選択した項目を上・下に移動します

［アクティブシート］
選択項目にアクティブシート名を設定します

［ブックから選択］
選択項目にアクティブブックから選択したシート名を設定します

［シート名入力］
選択項目に任意のシート名を設定します

［クリア］
選択項目の設定内容をクリアします

［メモ追加］
選択項目にメモを追加します

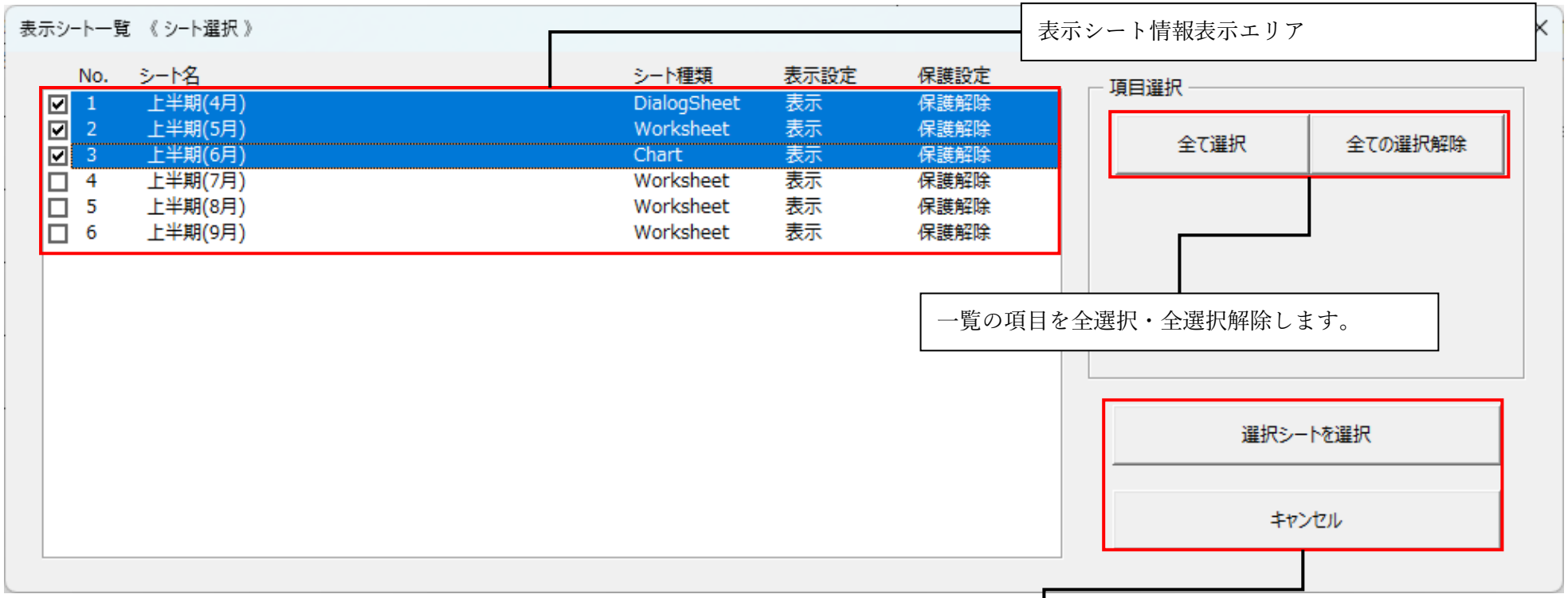
［登録］
設定内容を登録します

［キャンセル］
設定内容を登録せずにフォームを終了します

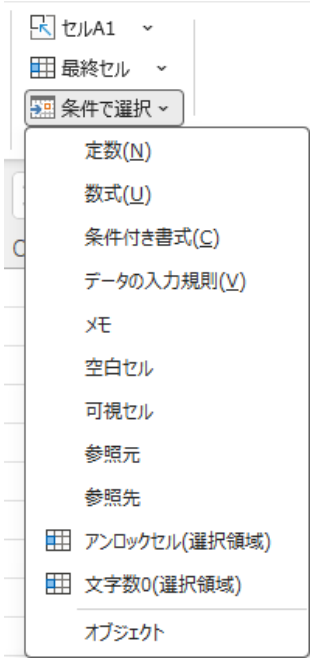
●表示シート一覧フォーム

［一覧にシート名を登録］コマンドをクリックすると表示されるフォームです。このフォームでシート名の登録・編集・クリアを行います。

このフォームで登録した［登録シート１］と［登録シート２］は、［登録シート１］コマンド、［登録シート２］コマンドに対応するシート名になります。

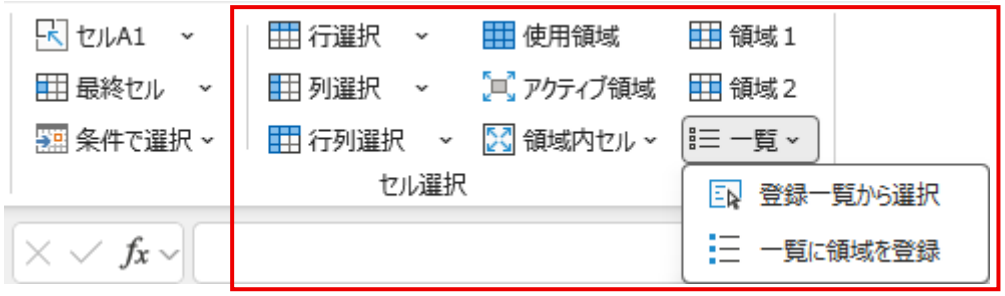


《セル選択》



コマンド	説明
セル A1	アクティブシートのセル A1 を選択します。
セル A1(全シート)	アクティブブックの表示されている全てのワークシートでセル A1 を選択します。
最左上表示セル(全シート)	アクティブブックの表示されている全てのワークシートで最左上表示セルを選択します。
最終セル	アクティブシートの最終セルを選択します。 最終セルが非表示の場合は表示されている最終セルを選択します。

最終セル(使用領域)	アクティブシートの使用領域の最終セルを選択します。 最終セルが非表示の場合は非表示領域を選択します。
定数(既存機能)	定数が設定されているセルをまとめて選択します。
数式(既存機能)	数式が設定されているセルをまとめて選択します。
条件付き書式(既存機能)	条件付き書式が設定されているセルをまとめて選択します。
データの入力規則(既存機能)	データの入力規則が設定されているセルをまとめて選択します。
メモ(既存機能)	メモが設定されているセルをまとめて選択します。
空白セル	空白セルをまとめて選択します。
可視セル	見えているセルをまとめて選択します。
参照元	参照元のセルをまとめて選択します。
参照先	参照先のセルをまとめて選択します。
アンロックセル(選択領域)	アクティブシートの選択領域内のアンロックセルを選択します。
文字列 0(選択領域)	選択した領域内の文字数が 0 のセルを選択します。空白セルだけでなく空の文字列 "" のセルも選択します。
オブジェクト	アクティブシートのオブジェクトをすべて選択します。



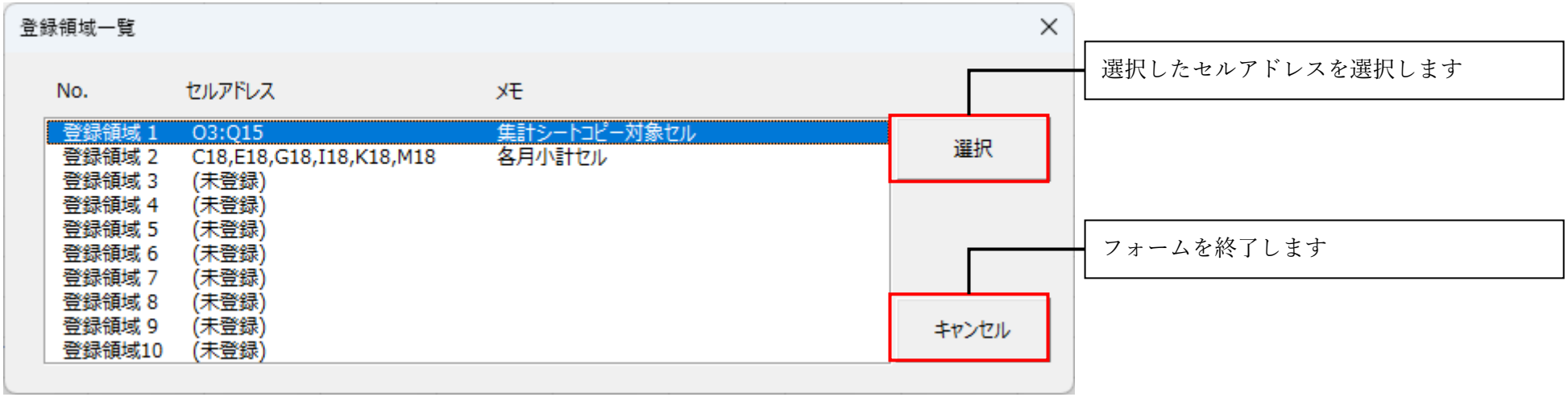
コマンド	説明
行選択	選択しているセルの行を選択します。 複数のセルを選択している場合 すべての選択セルの行を選択します。
行選択(アクティブセル領域内)	選択しているセルのアクティブセル領域内の行を選択します。 ※シートが保護されている場合 この機能は使用できません。
選択領域の奇数行選択	選択している領域の奇数行を選択します。 複数の領域を選択している場合 それぞれの領域で奇数行を選択します。
選択領域の偶数行選択	選択している領域の偶数行を選択します。 複数の領域を選択している場合 それぞれの領域で偶数行を選択します。
列選択	選択しているセルの列を選択します。 複数のセルを選択している場合 すべての選択セルの列を選択します。
列選択(アクティブセル領域内)	選択しているセルのアクティブセル領域内の列を選択します。 ※シートが保護されている場合 この機能は使用できません。
選択領域の奇数列選択	選択している領域の奇数列を選択します。 複数の領域を選択している場合 それぞれの領域で奇数列を選択します。

選択領域の偶数列選択	選択している領域の偶数列を選択します。 複数の領域を選択している場合 それぞれの領域で偶数列を選択します。
行列選択	選択しているセルの行列を選択します。 複数のセルを選択している場合 すべての選択セルの行列を選択します。
行列選択(アクティブセル領域内)	選択しているセルのアクティブセル領域内の行列を選択します。 ※シートが保護されている場合 この機能は使用できません。
使用領域	アクティブシートの使用領域を選択します。
アクティブセル領域	選択しているセルのアクティブセル領域を選択します。※シートが保護されている場合 この機能は使用できません。 アクティブセル領域が存在しない場合には変化はありません。
領域の左上セル	選択領域の左上セルをアクティブにします。
領域の右上セル	選択領域の右上セルをアクティブにします。
領域の左下セル	選択領域の左下セルをアクティブにします。
領域の右下セル	選択領域の右下セルをアクティブにします。
登録領域１	１つ目に登録している領域のセルを選択します。 領域の登録は［登録一覧］＞［一覧に領域を登録］から行います。
登録領域２	領域の登録は［登録一覧］＞［一覧に領域を登録］から行います。 登録一覧から選択
登録一覧から選択	登録した領域の一覧を表示し その一覧で選んだ領域を選択します。
一覧に領域を登録	領域(セルアドレス)を登録するフォームを表示します。 登録フォームでは １０ のセルアドレスを登録できます。

●登録領域一覧フォーム

［登録一覧から選択］コマンドをクリックすると表示されるフォームです。

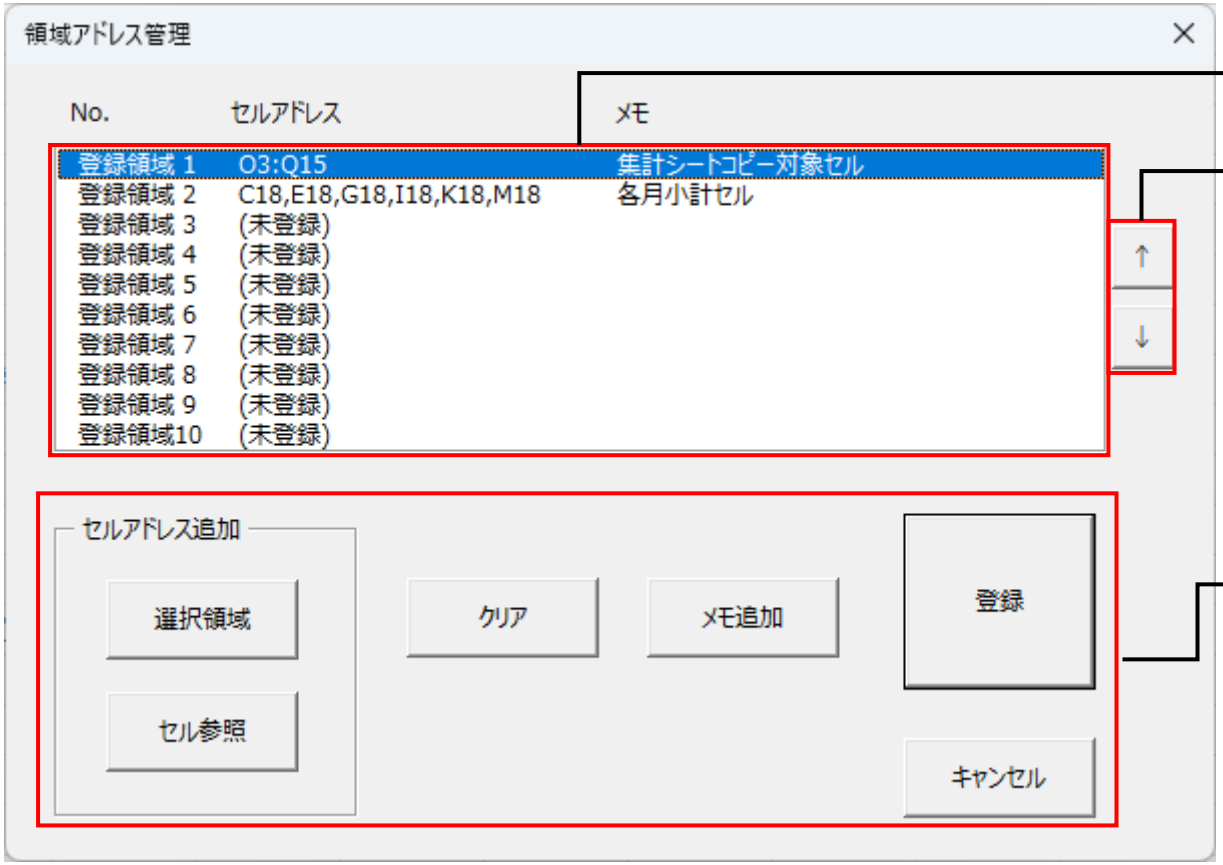
登録している領域（セルアドレス）を一覧から選び［選択］ボタンをクリックするとアクティブシートの該当領域を選択します。



●領域アドレス管理

［一覧に領域を登録］コマンドをクリックすると表示されるフォームです。このフォームで領域（セルアドレス）の登録・編集・クリアを行います。

このフォームで登録した［登録領域１］と［登録領域２］は、［登録領域１］コマンド、［登録領域２］コマンドに対応する領域になります。



登録情報表示エリア

選択した項目を上・下に移動します

［選択領域］
選択項目にアクティブシートの選択領域を設定します

［セル参照］
選択項目にセル参照ダイアログで選択した領域を登録します

［クリア］
選択項目の設定内容をクリアします

［メモ追加］
選択項目にメモを追加します

［登録］
設定内容を登録します

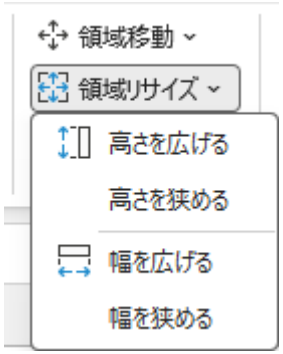
［キャンセル］
設定内容を登録せずにフォームを終了します

《領域移動》



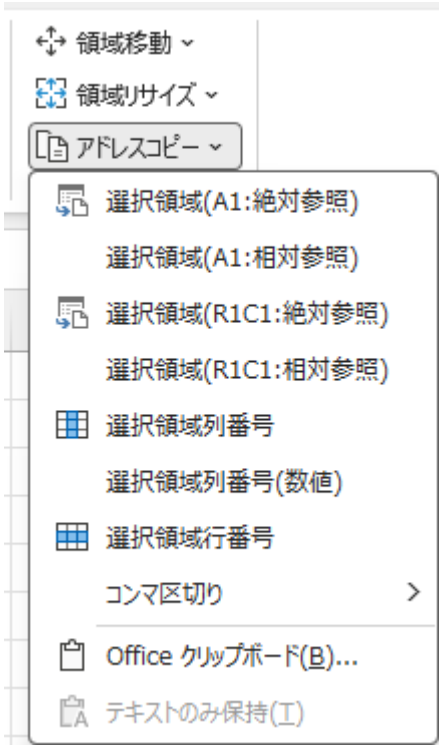
コマンド	説明
上に移動	選択している領域を 1 セル上に移動します。 複数領域を選択している場合は 全ての領域を移動します。
下に移動	選択している領域を 1 セル下に移動します。 複数領域を選択している場合は 全ての領域を移動します。
左に移動	選択している領域を 1 セル左に移動します。 複数領域を選択している場合は 全ての領域を移動します。
右に移動	選択している領域を 1 セル右に移動します。 複数領域を選択している場合は 全ての領域を移動します。

《領域リサイズ》



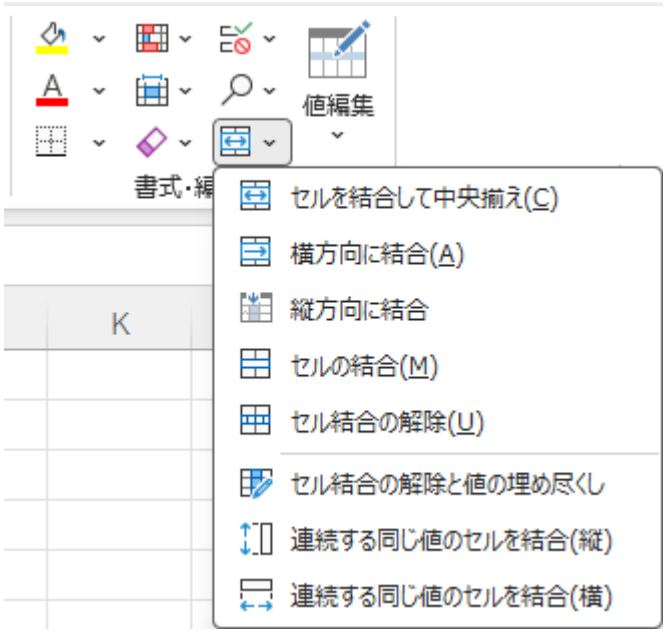
コマンド	説明
高さを広げる	選択している領域の高さを 1 セル広げます。 複数領域を選択している場合は 全ての領域をリサイズします。
高さを狭める	選択している領域の高さを 1 セル狭めます。 複数領域を選択している場合は 全ての領域をリサイズします。
幅を広げる	選択している領域の幅を 1 セル広げます。 複数領域を選択している場合は 全ての領域をリサイズします。
幅を狭める	選択している領域の幅を 1 セル狭めます。 複数領域を選択している場合は 全ての領域をリサイズします。

《アドレスコピー》



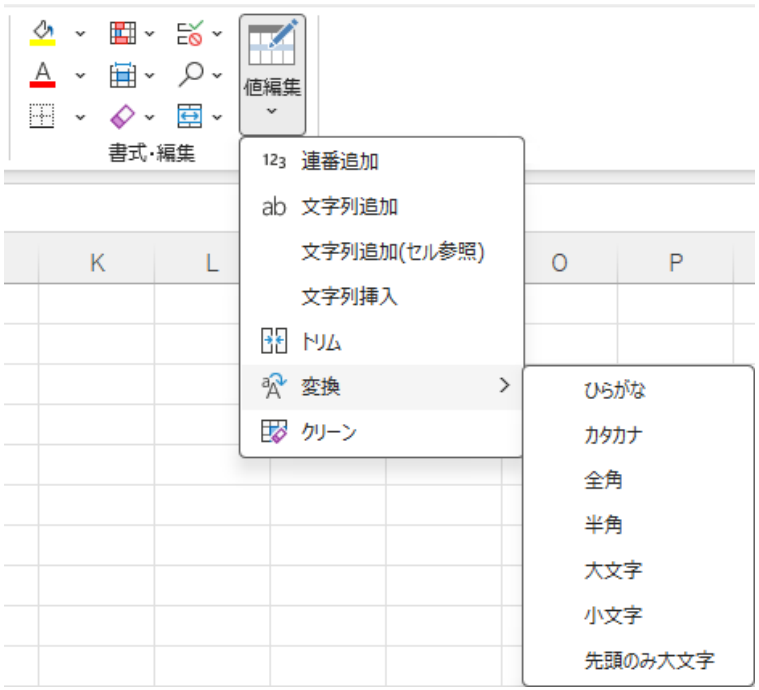
コマンド	説明
選択領域 (A1:絶対参照)	選択している領域のアドレスを A1 参照形式の絶対参照で クリップボードにコピーします。
選択領域 (A1:相対参照)	選択している領域のアドレスを A1 参照形式の相対参照で クリップボードにコピーします。
選択領域 (R1C1:絶対参照)	選択している領域のアドレス R1C1 参照形式の絶対参照で クリップボードにコピーします。
選択領域 (R1C1:相対参照)	選択している領域のアドレス R1C1 参照形式の相対参照で クリップボードにコピーします。
選択領域列番号	選択している領域の列番号をクリップボードにコピーします。【例】A:D
選択領域列番号(数値)	選択している領域の列番号(数値)をクリップボードにコピーします。【例】1:4
選択委領域行番号	選択している領域の行番号をクリップボードにコピーします。【例】2:9
コンマ区切り	追加のメニューが開き「選択領域(A1:絶対参照)」コマンドから 「選択領域行番号」コマンドが表示されます。各コマンドの機能は同じですが、 アドレスの区切りが改行ではなく "," (コンマ)になります。
Office クリップボード (既存機能)	クリップボードにコピーした すべてのアイテムを表示します。
テキストのみ保持 (既存機能)	テキストのみ保持して貼り付けします。

《書式・編集》



コマンド	説明
塗りつぶしの色 メニュー (既存機能)	セル背景色に色をつけ はっきりと目立たせるようにします。
フォントの色 メニュー (既存機能)	文字の色を変更します。
罫線 メニュー (既存機能)	現在選択されているセルに罫線を適用します。

条件付き書式 メニュー (既存機能)	バー、色、アイコンを使って重要な値を視覚的に強調し、データの傾向やパターンを簡単に把握できるようにします。
書式 メニュー (既存機能)	行の高さや列幅の変更、シートの整理、セルの保護や非表示を行います。
クリア メニュー (既存機能)	セル内の情報をすべて削除するか、セルの書式、内容、コメント、ハイパーリンクのみを削除します。
データの入力規則 メニュー (既存機能)	セルに入力できるデータの種類を制限するルールを一覧の中から選びます。 たとえば、1、2、3 などの値のリストを表示したり、1000 よりも大きい数値のみを有効値として許可したりできます。
検索と選択 メニュー (既存機能)	クリックすると、ドキュメントのテキスト検索オプションが表示されます。 高度な検索オプションを使って、テキストの置換、特定の場所へのジャンプ、検索の絞り込み方法を行うことができます。
セルの結合 メニュー (既存機能)	選択したセルを結合して 1 つのセルにしたり、結合しているセルを解除し、それぞれのセルとして分離したりします。
縦方向に結合	同じ列にある選択したセルを結合して、大きな 1 つのセルにします。1 番上のセルの値のみ保持されます。 「元に戻す」機能は使えません。
セル結合の解除と値の埋め尽くし	選択した結合セルを解除し、結合セルの値を解除後のそれぞれのセルに設定します。
連続する同じ値のセルを結合(縦)	選択した 1 列のセルで、連続した同じ値を結合して 1 つのセルにします。
連続する同じ値のセルを結合(横)	選択した 1 行のセルで、連続した同じ値を結合して 1 つのセルにします。
セルの書式設定 (既存機能)	セルの書式を好みに合わせて設定します。 （グループ名［書式］の右にある□）

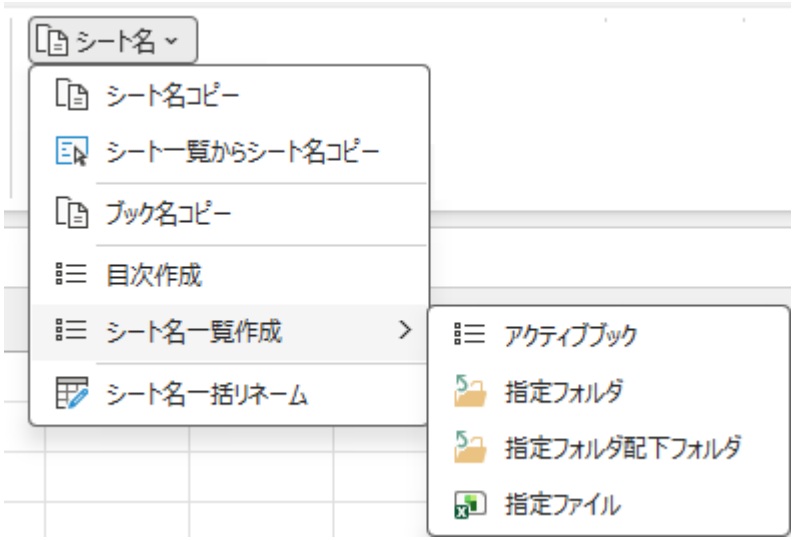


コマンド	説明
連番追加	選択したセルの値の前または後ろに連番を追加します。 開始番号の桁数で連番の桁数が決まり（例：001）、値と連番の間には任意の接続文字を設定できます。
文字列追加	選択したセルの値の前または後ろに任意の文字列を追加します。
文字列追加(セル参照)	参照したセルの値を、選択したセルの値の前または後ろに追加します。 参照セルが複数の場合は、選択したセルの順に参照セルの値を繰り返して使用します。

文字列挿入	選択したセルの値の指定した位置（前から・後ろから何文字目）、または基準文字の前後に 任意の文字列を挿入します。
トリム	選択したセルの値の前後の空白を削除し、文字の間に続く空白を 1 つにします。
変換	選択したセルの値を、ひらがな・カタカナ・全角・半角・大文字・小文字・先頭のみ大文字に変換します。
クリーン	選択したセルの値から、改行などの印刷できない文字を削除します。
元に戻す (既存機能)	値編集の各機能を実行した後は、Excel の［元に戻す］（Ctrl+Z）で編集前の値に戻せます。

※値編集の対象は**文字列のセル**です（連番追加・文字列追加・文字列追加(セル参照)は空白のセルも対象）。**数値・数式のセルは変更しません**。

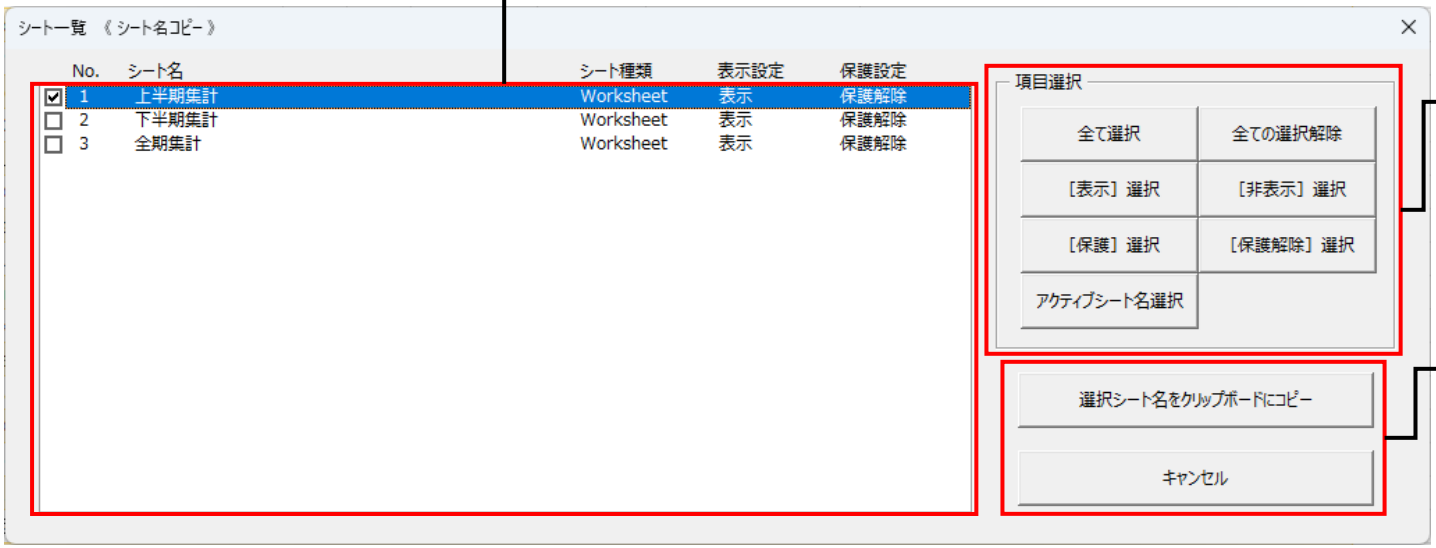
《シート名》



コマンド	説明
シート名コピー	アクティブシートのシート名をクリップボードにコピーします。
シート一覧からシート名コピー	シート一覧フォームを表示し 複数のシート名を一括でコピーします。
ブック名コピー	アクティブブックの名前をクリップボードにコピーします。
目次作成	アクティブブックの目次シートを作成します。 目次シートでは、各ワークシートへのリンクが設定されており、クリックで移動できます。

シート名一覧作成 ・アクティブブック ・指定フォルダ ・指定フォルダ配下フォルダ ・指定ファイル	 アクティブブックのシート名一覧を新規ブックとして作成します。 指定フォルダの Excel ブックのシート名一覧を新規ブックとして作成します。 指定フォルダおよび配下フォルダ内の Excel ブックのシート名一覧を新規ブックとして作成します。 指定 Excel ファイルのシート名一覧を新規ブックとして作成します。
シート リネーム	［シート リネーム］フォームを表示し、アクティブブック内のシート名をまとめて変更します。 フォームでは、対象とするシートを選択し、変更後のシート名を設定します。 《変更後のシート名設定の主な機能》 ・セル参照：セルを参照し参照したセルの値を設定します。 ・任意入力：任意の入力値を設定します。 ・ランダム：指定した桁数のランダム値（半角英数）を設定します。 ・連番：（任意の文字列）＋連番＋（任意の文字列）といった形で連番を設定します。 ・文字列追加：シート名の前後に任意の文字列を追加します。 ・文字列挿入：シート名に任意の文字列を挿入します。 ・文字列置換：シート名から任意の文字列を検索し置換します。 ・文字列抜出：シート名から文字列を抜き出します。

●シート一覧《シート名コピー》フォーム

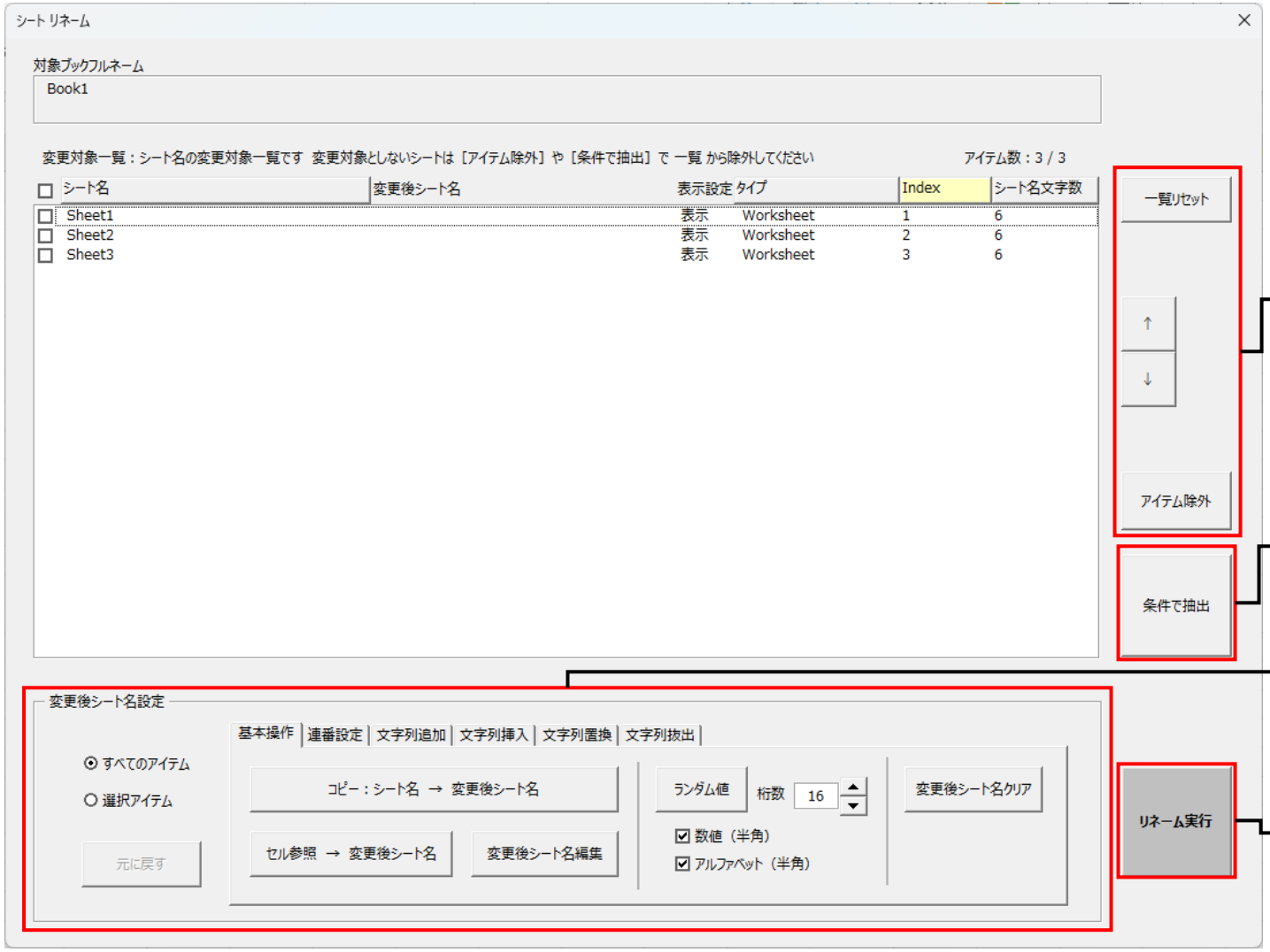


シート情報表示エリア

項目選択エリア
シート情報等に基づき 項目を
まとめて選択・選択解除します

［選択シート名をクリップボードにコピー］
　選択項目をクリップボードに
　コピーします
［キャンセル］
　フォームを終了します

● ［シート リネーム］フォーム



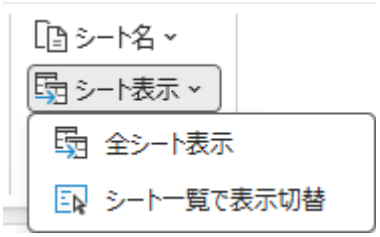
［一覧リセット］
一覧を初期状態にリセットします
［↑］
選択アイテムを一つ上に移動します
［↓］
選択アイテムを一つ下に移動します
［アイテム除外］
選択アイテムを一覧から除外します

［条件で抽出］
抽出オプションエリアを表示します

変更後シート名設定
各機能で変更後のシート名を設定します

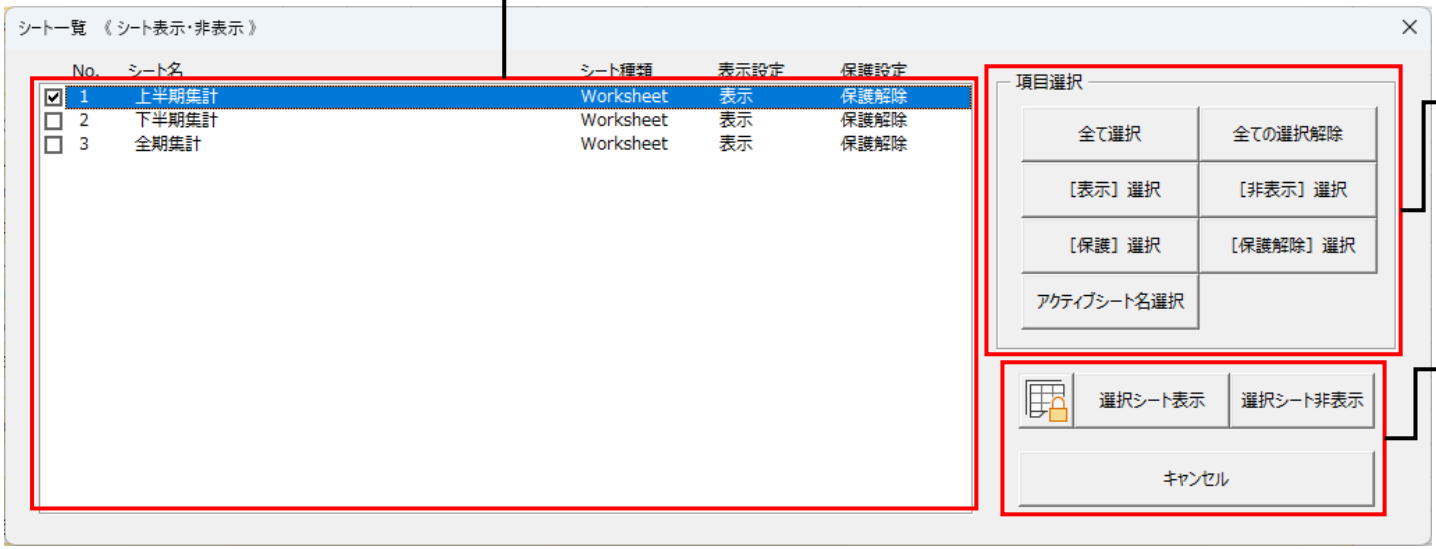
［リネーム実行］
一覧に基づきリネームを実行します
［シート名］→［変更後シート名］

《シート表示》



コマンド	説明
シート表示	アクティブブックの全てのシートを表示します。
シート一覧で表示切替	シート一覧フォームを表示し 各シートの表示設定を切り替えます。

●シート一覧《シート表示・非表示》フォーム

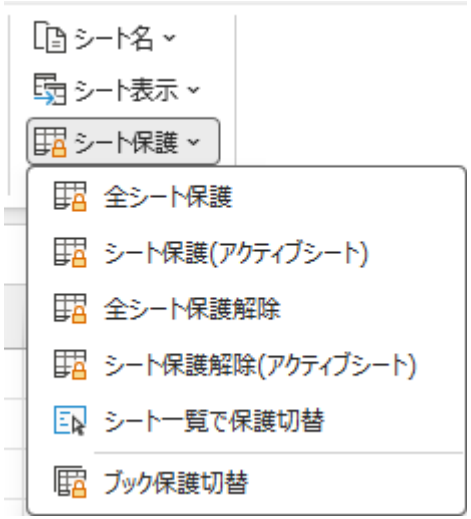


シート情報表示エリア

項目選択エリア
シート情報等に基づき 項目を
まとめて選択・選択解除します

［ブックの保護］
　ブックの保護・保護解除を行います
［選択シート表示］
　選択項目のシートを表示します
［選択シート非表示］
　選択項目のシートを非表示にします
［キャンセル］
　フォームを終了します

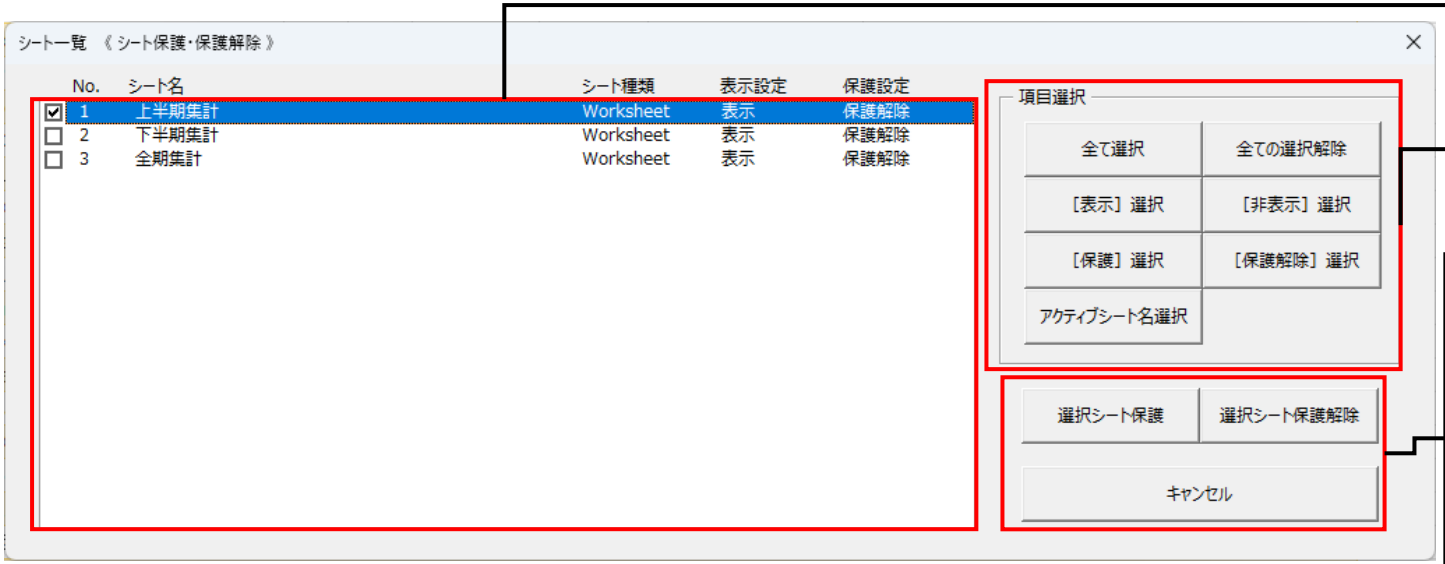
《シート保護》



コマンド	説明
全シート保護	アクティブブックの全てのシートを保護します。
シート保護（アクティブシート）	アクティブシートを保護します。
全シート保護解除	アクティブブックの全てのシートの保護を解除します。
シート保護解除（アクティブシート）	アクティブシートの保護を解除します。
シート一覧で保護切替	シート一覧フォームを表示し 各シートの保護設定を切り替えます。
ブック保護切替	アクティブブックの保護・保護解除設定を切り替えます。

※ いずれの機能でもパスワード管理フォームが利用できます。

●シート一覧《シート保護・保護解除》フォーム

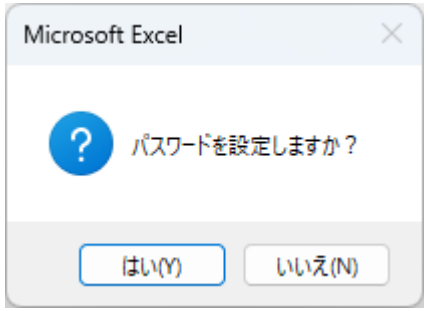


シート情報表示エリア

項目選択エリア
シート情報等に基づき 項目を
まとめて選択・選択解除します

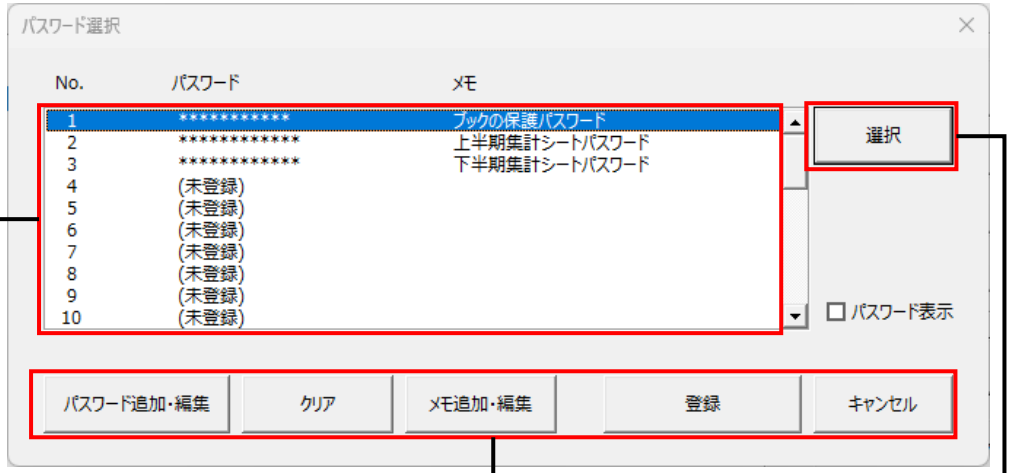
［選択シート保護］
選択項目のシートを保護します
［選択シート保護解除］
選択項目のシートの保護を
解除します
［キャンセル］
フォームを終了します

項目を選択して［選択シート保護］ボタンをクリックするとパスワード設定確認メッセージが表示されます。



［はい］をクリックすると、パスワード選択フォームが表示されます。（次頁参照）
［いいえ］をクリックすると、シート保護フォームが表示されます。（次頁参照）

●パスワード選択フォーム



パスワード情報表示エリア

［パスワード追加・編集］
選択項目にパスワードを追加・編集します
［クリア］
選択項目の内容をクリアします
［メモ追加・編集］
選択項目にメモを追加・編集します
［登録］
設定した情報を登録します
［キャンセル］
フォームを終了します

［選択］
一覧で選択している項目の
パスワードを選択します
シート保護の場合には
このボタンをクリックで
シート保護フォームに
画面が遷移します

●シート保護フォーム　（ワークシート）



シートの保護対象や
ユーザーに許可する項目を
選択するフォームです

［OK］
保護対象等を決定します
［キャンセル］
フォームを終了します

保護対象選択エリア

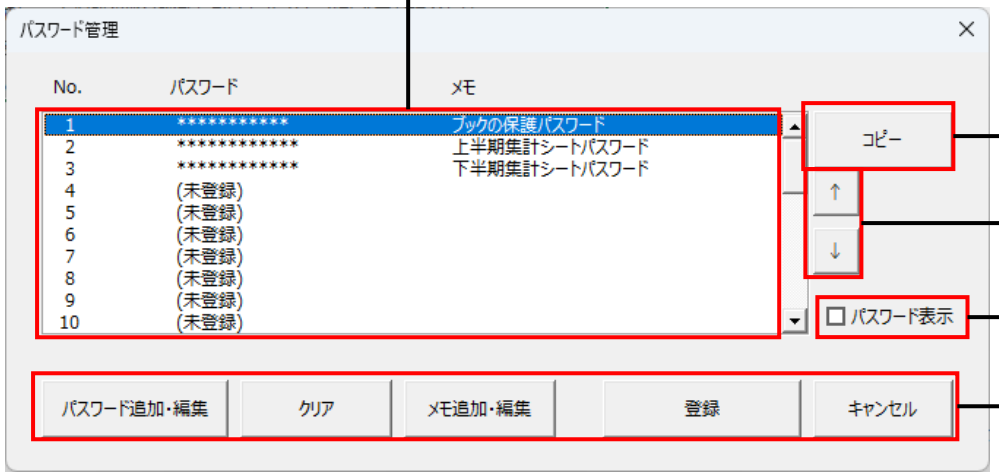
ユーザー許可項目
選択エリア

《パスワード》



コマンド	説明
管理	パスワード管理フォームで 任意のパスワードとメモの登録・削除を行えます。 パスワードを登録すると管理フォームから いつでもクリップボードにパスワードをコピーできるようになります。 また nExTools アドインの「シート表示」機能や「シート保護」「シート保護解除」、「ブック保護切替」機能において パスワードが必要な場合には パスワード選択フォームが表示されパスワードを選択できるようになります。 パスワード・メモは ３０ 個まで登録できます。

●パスワード管理フォーム



パスワード情報表示エリア

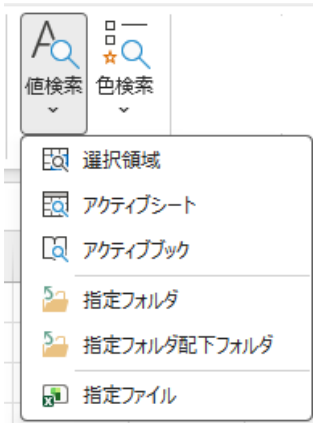
［コピー］
一覧で選択している項目のパスワードを
クリップボードにコピーします

選択した項目を上・下に移動します

［パスワード表示］
パスワード情報表示エリアにおいて
パスワードの表示・非表示を切り替えます

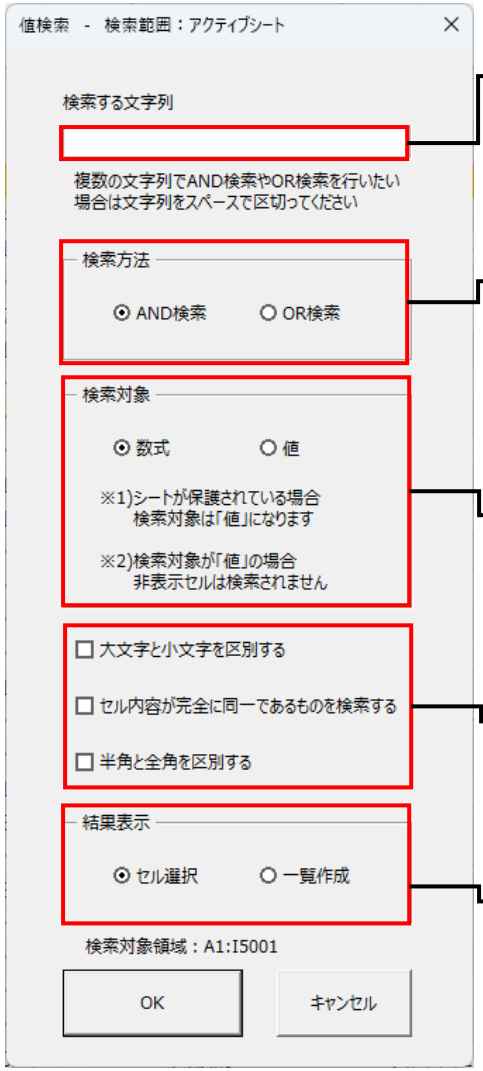
［パスワード追加・編集］
選択項目にパスワードを追加・編集します
［クリア］
選択項目の内容をクリアします
［メモ追加・編集］
選択項目にメモを追加・編集します
［登録］
設定した情報を登録します
［キャンセル］
フォームを終了します

《値検索》



コマンド	説明
選択領域	値検索フォームを表示し 選択している領域から任意の文字列を検索し セルを選択 または一覧として出力します。 値検索フォームでは 複数の検索文字列による AND 検索・OR 検索 や 部分一致・完全一致等の設定を行えます。
アクティブシート	値検索フォームを表示し アクティブシートから任意の文字列を検索し セルを選択 または一覧として出力します。 値検索フォームでは 複数の検索文字列による AND 検索・OR 検索 や 部分一致・完全一致等の設定を行えます。
アクティブブック	値検索フォームを表示し アクティブブックから任意の文字列を検索し 一覧として出力します。 値検索フォームでは 複数の検索文字列による AND 検索・OR 検索 や 部分一致・完全一致等の設定を行えます。
指定フォルダ	値検索フォームを表示し 指定フォルダ内の Excel ブックから任意の文字列を検索し 一覧として出力します。 値検索フォームでは 複数の検索文字列による AND 検索・OR 検索 や 部分一致・完全一致等の設定を行えます。 検索対象ファイル："xlsx", "xlsm", "xltx", "xltm", "xlsb", "xls", "xlt"
指定フォルダ配下フォルダ	値検索フォームを表示し 指定フォルダと その配下フォルダの Excel ブックから任意の文字列を検索し 一覧として出力します。 値検索フォームや検索対象ファイルは「指定フォルダ」と同様です。
指定ファイル	値検索フォームを表示し 指定した Excel ブック（複数選択可）から任意の文字列を検索し 一覧として出力します。 値検索フォームや検索対象ファイルは「指定フォルダ」と同様です。

●値検索フォーム



［検索する文字列入力欄］
検索する文字列を入力する欄です
複数の文字列で AND 検索 や OR 検索を行いたい場合は文字列をスペースで区切ってください

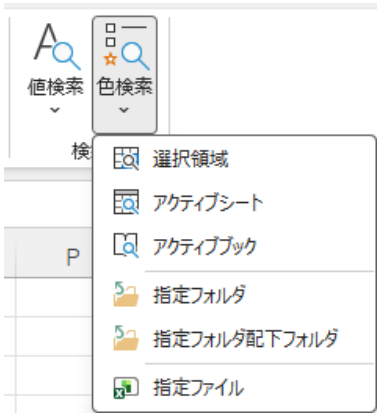
［AND 検索］
複数の文字列を入力した場合に 入力したすべての文字列を含むセルを一致と評価します
［OR 検索］
複数の文字列を入力した場合に 入力したいずれかの文字列を含むセルを一致と評価します

［数式］
数式等のセル内の文字列を検索対象とします シートが保護されている場合は「値」に切り替わります
［値］
セルの値（数式等の結果を含む）を検索対象とします 非表示セルは検索されません

［大文字と小文字を区別する］
［セル内容が完全に同一であるものを検索する］
［半角と全角を区別する］

［セル選択］
検索に一致したセルを選択します 「選択領域」コマンド「アクティブシート」コマンドで使用できます
［一覧作成］
検索に一致したセルのアドレスや情報を新規ブックに一覧として出力します

《色検索》



コマンド	説明
選択領域	色検索フォームを表示し 選択している領域から 任意のセル背景色 またはフォント色を検索し セルを選択 または一覧として出力します。 色検索フォームでは セル背景色・フォント色の選択や 検索する色等の設定を行えます。
アクティブシート	色検索フォームを表示し アクティブシートから 任意のセル背景色 またはフォント色を検索し セルを選択 または一覧として出力します。 色検索フォームでは セル背景色・フォント色の選択や 検索する色等の設定を行えます。
アクティブブック	色検索フォームを表示し アクティブブックから 任意のセル背景色 またはフォント色を検索し 一覧として出力します。 色検索フォームでは セル背景色・フォント色の選択や 検索する色等の設定を行えます。
指定フォルダ	色検索フォームを表示し アクティブブックから 任意のセル背景色 またはフォント色を検索し 一覧として出力します。 色検索フォームでは セル背景色・フォント色の選択や 検索する色等の設定を行えます。 検索対象ファイル："xlsx", "xlsm", "xltx", "xltm", "xlsb", "xls", "xlt"
指定フォルダ配下フォルダ	色検索フォームを表示し 指定フォルダと その配下フォルダの Excel ブックから 任意のセル背景色 またはフォント色を検索し 一覧として出力します。 色検索フォームや検索対象ファイルは「指定フォルダ」と同様です。
指定ファイル	色検索フォームを表示し指定した Excel ブック（複数選択可）から 任意のセル背景色 またはフォント色を検索し 一覧として出力します。 色検索フォームや検索対象ファイルは「指定フォルダ」と同様です。

●色検索フォーム

［セル背景色］
セル背景色を検索対象とします
［フォント色］
フォント色を検索対象とします

［全ての色］
すべての色を検索対象とします
［指定の色］
指定の色を検索対象とします
色は「カラーパレット」で選択するか「セル参照」で指定のセルの色を基にします

［セル選択］
検索に一致したセルを選択します
「選択領域」「アクティブシート」コマンドで使用できます
［一覧作成］
検索に一致したセルのアドレスや情報を新規ブックに一覧として出力します



［色のみ］
色のみを検索対象とします

［色と任意の文字列］
色と任意の文字列が入力されたセルを検索対象とします
検索条件は「文字列検索対象」のみ選択できます

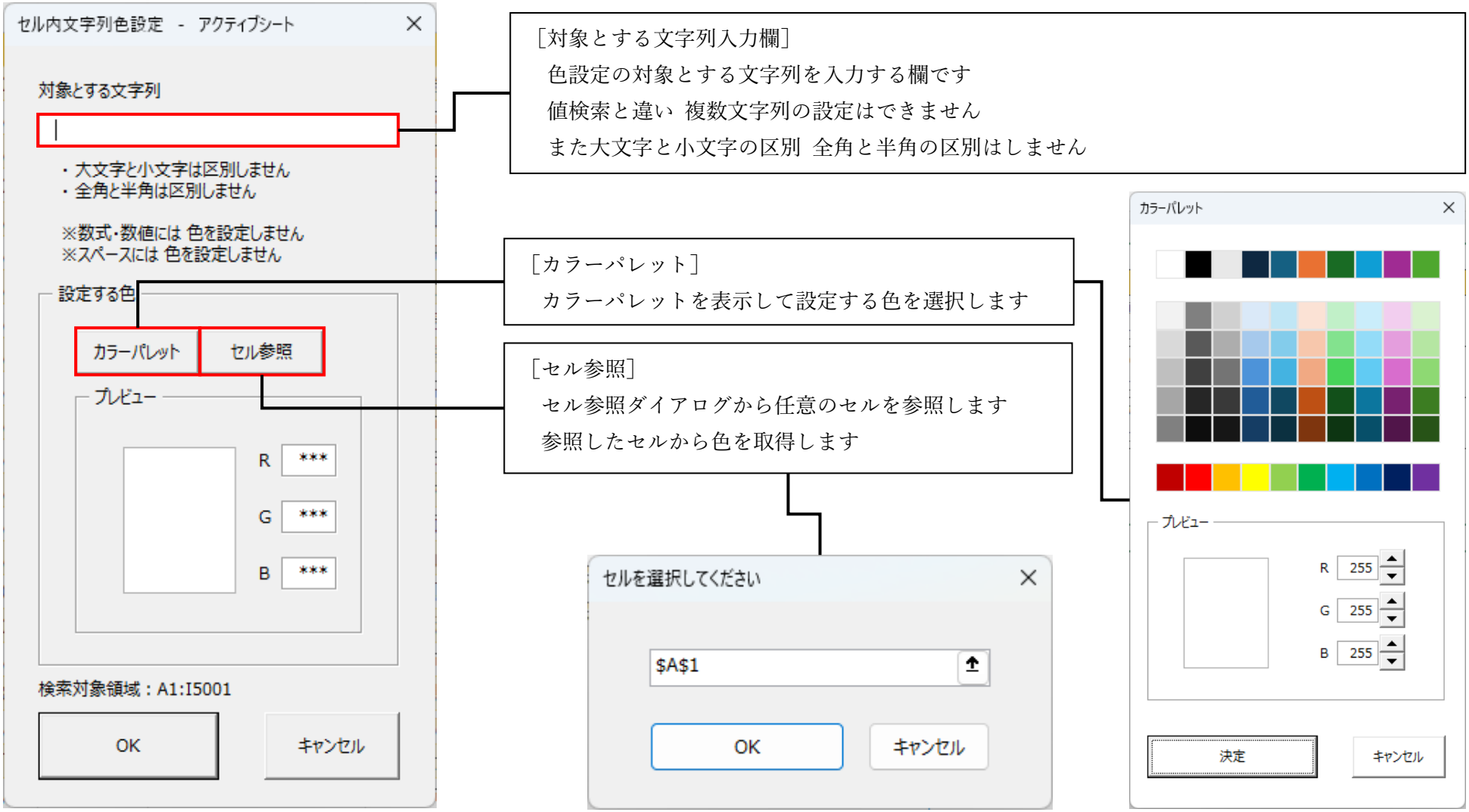
［色と指定の文字列］
色と指定の文字列が入力されたセルを検索対象とします
すべての検索条件を設定できます

《文字列に色設定》



コマンド	説明
選択領域	セル内文字列色設定フォームを表示し 選択している領域の 任意の文字列に 任意の色を設定します。 セル内文字列色設定フォームでは 対象とする文字列と色の設定を行えます。
アクティブシート	セル内文字列色設定フォームを表示し アクティブシートの 任意の文字列に 任意の色を設定します。 セル内文字列色設定フォームでは 対象とする文字列と色の設定を行えます。
アクティブブック	セル内文字列色設定フォームを表示し アクティブブックの 任意の文字列に 任意の色を設定します。 セル内文字列色設定フォームでは 対象とする文字列と色の設定を行えます。

●セル内文字列色設定フォーム



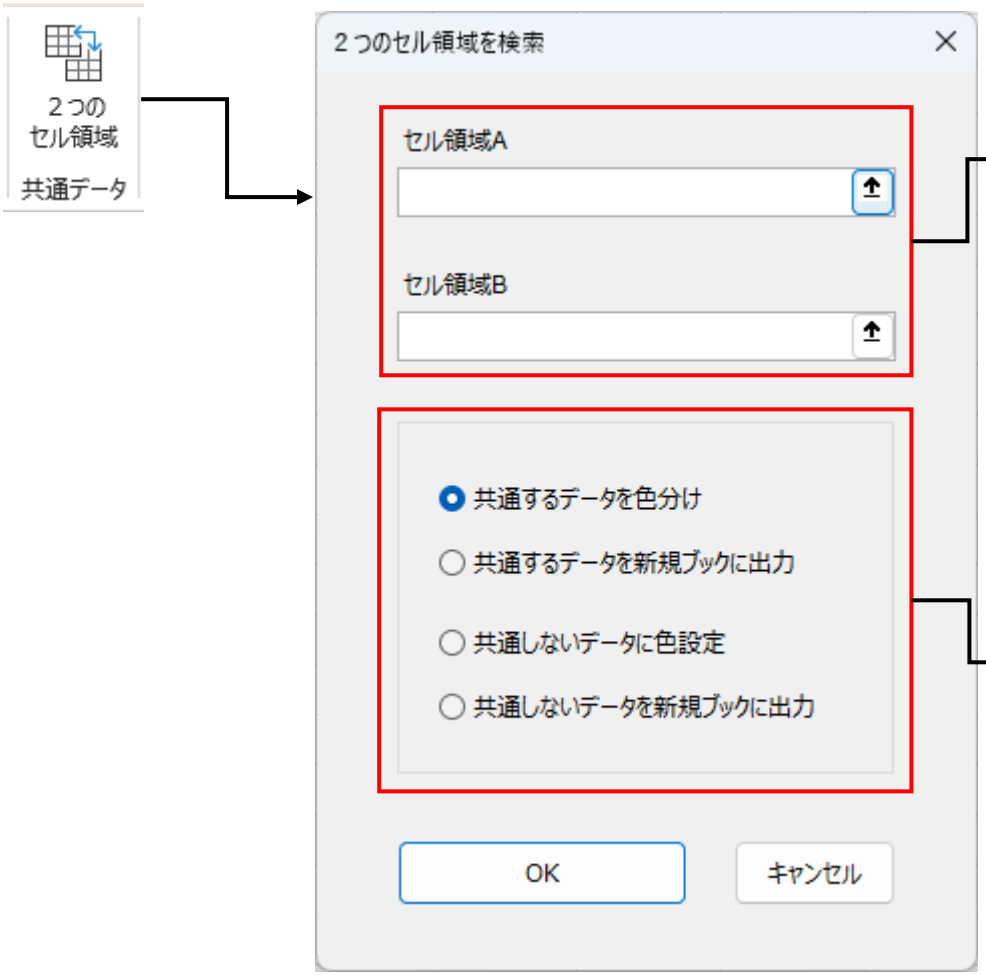
《重複データ》



コマンド	説明
色分け (選択領域)	選択領域から重複データを検索し 重複データごとにセルを色分けします。 色分けは最大 ２０ 色のため重複するデータが多い場合には色が重なることがあります。
色分け (アクティブシート)	アクティブシートから重複データを検索し 重複データごとにセルを色分けします。 色分けは最大 ２０ 色のため重複するデータが多い場合には色が重なることがあります。
塗りつぶしなし	選択している領域のセル背景色を 塗りつぶしなし に設定します。
一覧 (選択領域)	選択領域から重複データを検索し 一覧として新規ブックに出力します。
一覧 (アクティブシート)	アクティブシートから重複データを検索し 一覧として新規ブックに出力します。
重複の削除 (既存機能)	重複する行をシートから削除します。 重複する情報をチェックする列を指定できます。

《共通データ》

●共通データを検索ダイアログ



［セル領域 A］
共通データを確認する 1 つ目のセル範囲を指定します
［セル領域 B］
共通データを確認する 2 つ目のセル範囲を指定します

［共通するデータを色分け］
セル領域 A と B の共通するデータのセルを色分けします
［共通するデータを新規ブックに出力］
セル領域 A と B の共通するデータを一覧として出力します

［共通しないデータに色設定］
セル領域 A と B の共通しないデータのセルに黄色を設定します
［共通しないデータを新規ブックに出力］
セル領域 A と B の共通しないデータを一覧として出力します

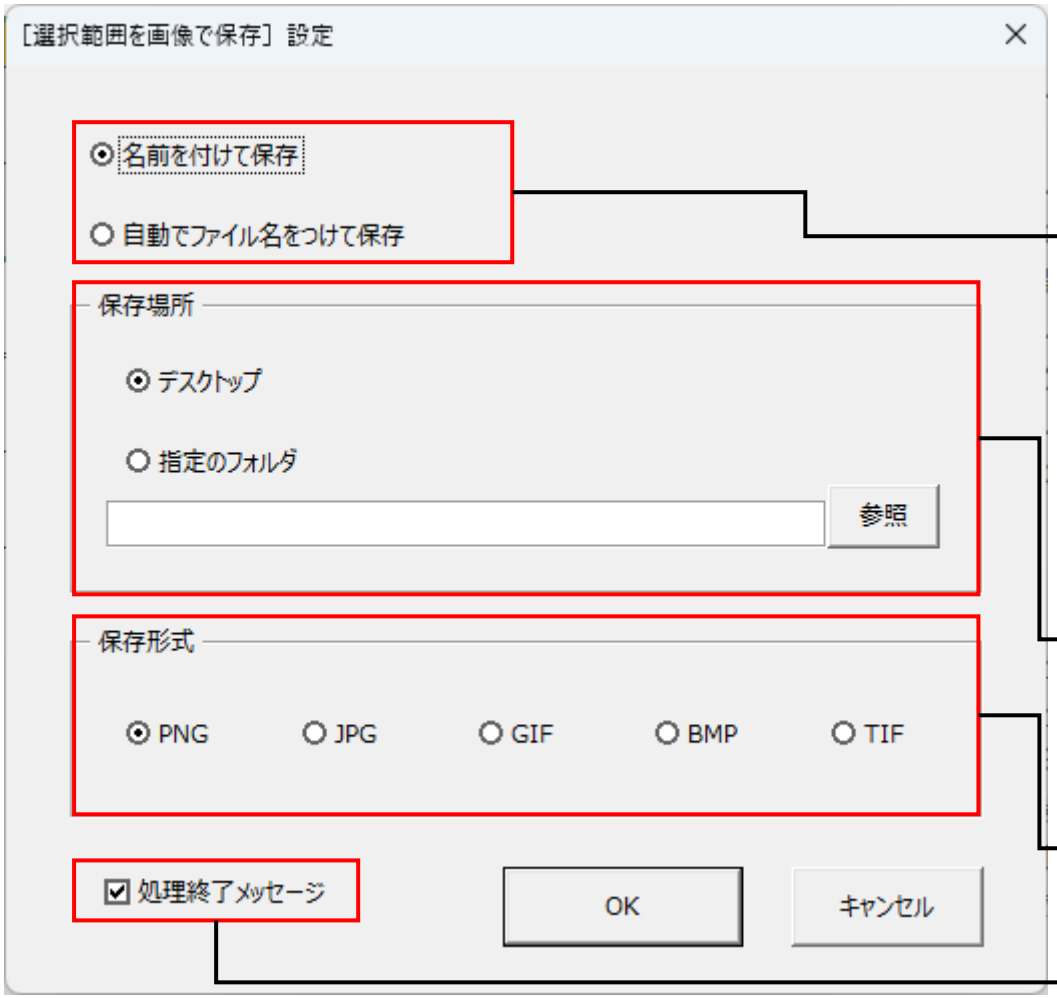
コマンド	説明
２つのセル領域 共通するデータを色分け	２つのセル領域で共通するデータのセルを色分けします。 セル領域の比較は同じシートだけでなく シートやブックをまたいで行えます。 色分けは最大 ２０ 色のため重複するデータが多い場合には色が重なることがあります。
２つのセル領域 共通するデータを新規ブックに出力	２つのセル領域で共通するデータを一覧として新規ブックに出力します。 セル領域の比較は同じシートだけでなく シートやブックをまたいで行えます。
２つのセル領域 共通しないデータに色設定	２つのセル領域で共通しないデータのセルに黄色を設定します。 セル領域の比較は同じシートだけでなく シートやブックをまたいで行えます。
２つのセル領域 共通するデータを新規ブックに出力	２つのセル領域で共通しないデータを一覧として新規ブックに出力します。 セル領域の比較は同じシートだけでなく シートやブックをまたいで行えます。

《画像保存》



コマンド	説明
選択範囲を画像保存	選択領域を画像で出力します。 出力対象形式："png","jpg","gif","bmp","tif"
画像保存設定	［選択範囲を画像保存］設定フォームを表示します。 フォームで 保存の方法やファイル形式等の設定を行います。

● ［選択範囲を画像保存］設定フォーム



保存方法の選択
［名前を付けて保存］
「選択範囲を画像保存」コマンドをクリックすると
「名前をつけて保存」ダイアログボックス表示されます
［自動でファイル名をつけて保存］
「保存場所」に指定したフォルダに自動で名前を付けて
画像を保存します
「保存場所」の「指定フォルダ」が見つからない場合は
「名前をつけて保存」ダイアログボックスが表示されます

［デスクトップ］
「自動でファイル名を付けて保存」を選択している場合
デスクトップに画像を保存します
［指定のフォルダ］
「自動でファイル名を付けて保存」を選択している場合
「参照」で指定したフォルダに画像を保存します

保存形式の選択

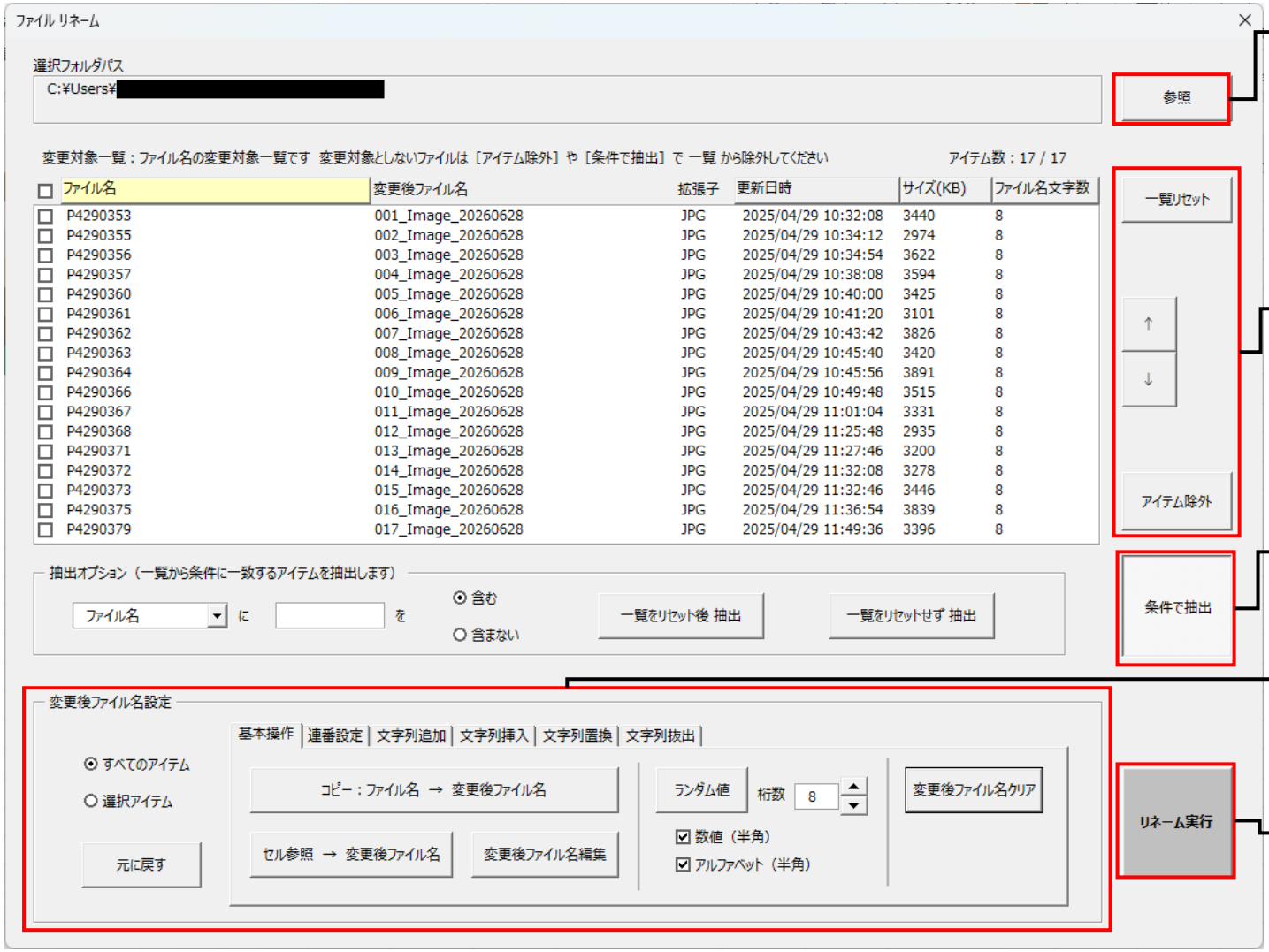
［処理終了メッセージ］
画像を保存したメッセージの有無の設定です
チェックを入れている場合にはメッセージが表示されます

《ファイル》



コマンド	説明
リストアップ	指定フォルダおよび配下フォルダ内のサブフォルダ・ファイルを一覧として出力します。
情報取得	指定フォルダ内のファイル名や更新日時等の情報を一覧として出力します。
リネーム	［ファイル リネーム］フォームを表示し、指定フォルダ内のファイル名をまとめて変更します。 フォームでは、対象とするファイルを選択し、変更後のファイル名を設定します。 《変更後のファイル名設定の主な機能》 ・セル参照：セルを参照し参照したセルの値を設定します。 ・任意入力：任意の入力値を設定します。 ・ランダム：指定した桁数のランダム値（半角英数）を設定します。 ・連番：（任意の文字列）＋連番＋（任意の文字列）といった形で連番を設定します。 ・文字列追加：ファイル名の前後に任意の文字列を追加します。 ・文字列挿入：ファイル名に任意の文字列を挿入します。 ・文字列置換：ファイル名から任意の文字列を検索し置換します。 ・文字列抜出：ファイル名から文字列を抜き出します。

● ［ファイル リネーム］フォーム



［参照］
対象とするフォルダを選択します

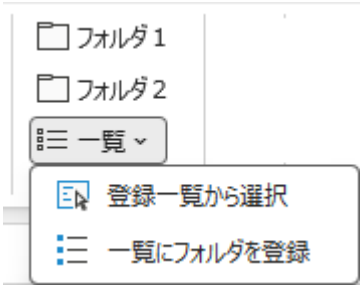
［一覧リセット］
一覧を初期状態にリセットします
［↑］
選択アイテムを一つ上に移動します
［↓］
選択アイテムを一つ下に移動します
［アイテム除外］
選択アイテムを一覧から除外します

［条件で抽出］
抽出オプションエリアを表示します

変更後ファイル名設定
各機能で変更後のファイル名を設定します

［リネーム実行］
一覧に基づきリネームを実行します
［ファイル名］→［変更後ファイル名］

《フォルダ》

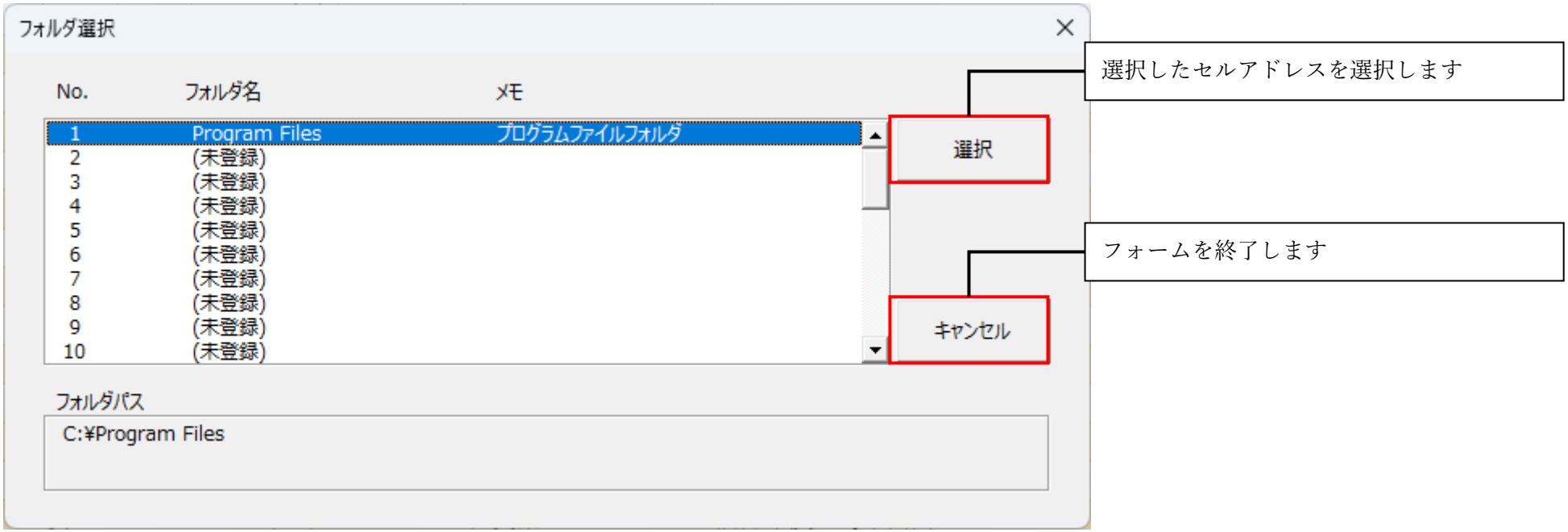


コマンド	説明
登録フォルダ 1	１つ目に登録しているフォルダをエクスプローラーで表示します。 フォルダの登録は［登録一覧］＞［一覧にフォルダを登録］から行います。
登録フォルダ 2	２つ目に登録しているフォルダを選択します。 フォルダの登録は［登録一覧］＞［一覧にフォルダを登録］から行います。
登録一覧から選択	登録一覧から選択 登録したフォルダの一覧を表示し その一覧で選んだフォルダをエクスプローラーで表示します。
一覧にフォルダを登録	フォルダを登録するフォームを表示します。 登録フォームでは ３０ のフォルダを登録できます。

●フォルダ選択フォーム

［登録一覧から選択］コマンドをクリックすると表示されるフォームです。

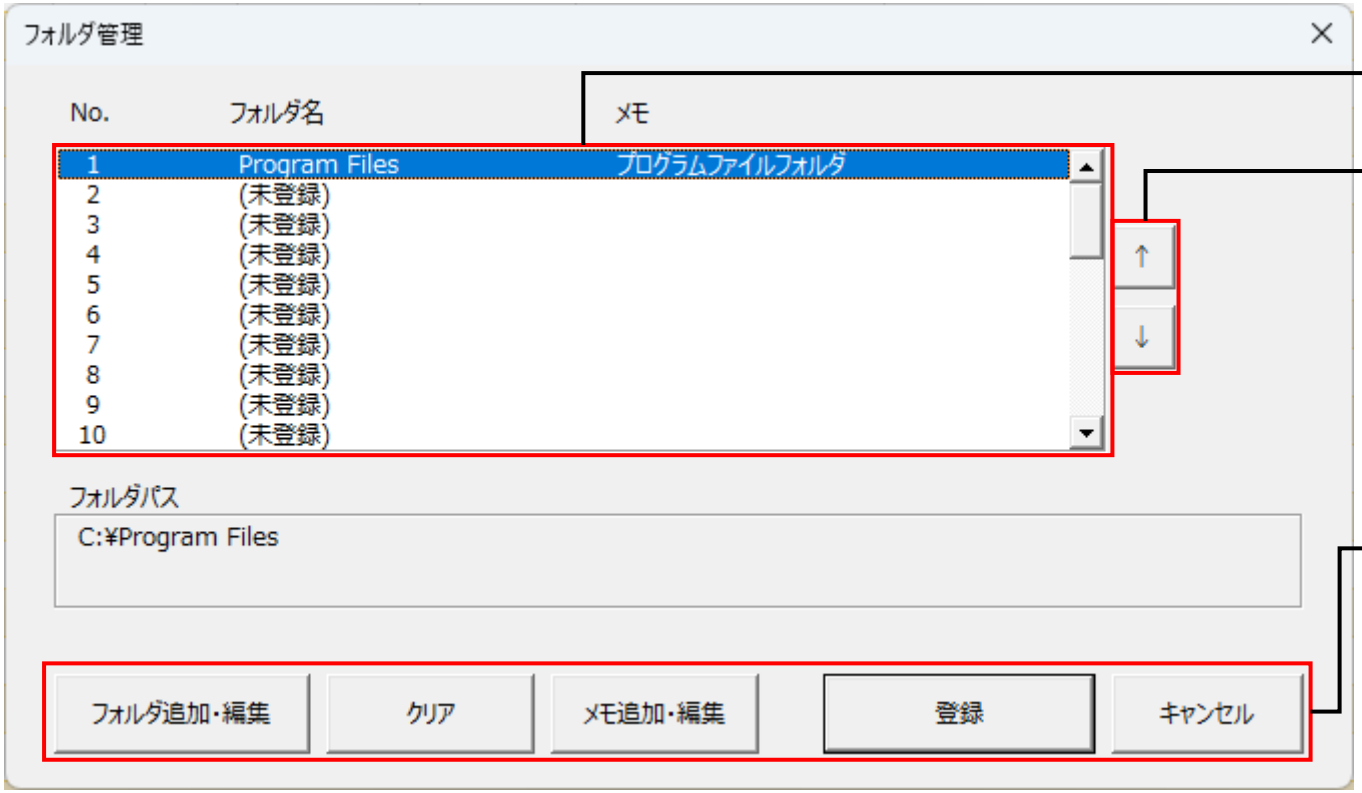
登録しているフォルダを一覧から選び［選択］ボタンをクリックすると選んだフォルダをエクスプローラーで表示します。



●フォルダ管理

［一覧にフォルダを登録］コマンドをクリックすると表示されるフォームです。このフォームでフォルダの登録・編集・クリアを行います。

このフォームで登録した［登録フォルダ１］と［登録フォルダ２］は、［登録フォルダ１］コマンド、［登録フォルダ２］コマンドに対応するフォルダになります。



登録情報表示エリア

選択した項目を上・下に移動します

［フォルダ追加・編集］
フォルダ選択ダイアログボックスから
フォルダを選択します

［クリア］
選択項目の設定内容をクリアします

［メモ追加・編集］
選択項目にメモを追加、またはメモを
編集します

［登録］
設定内容を登録します

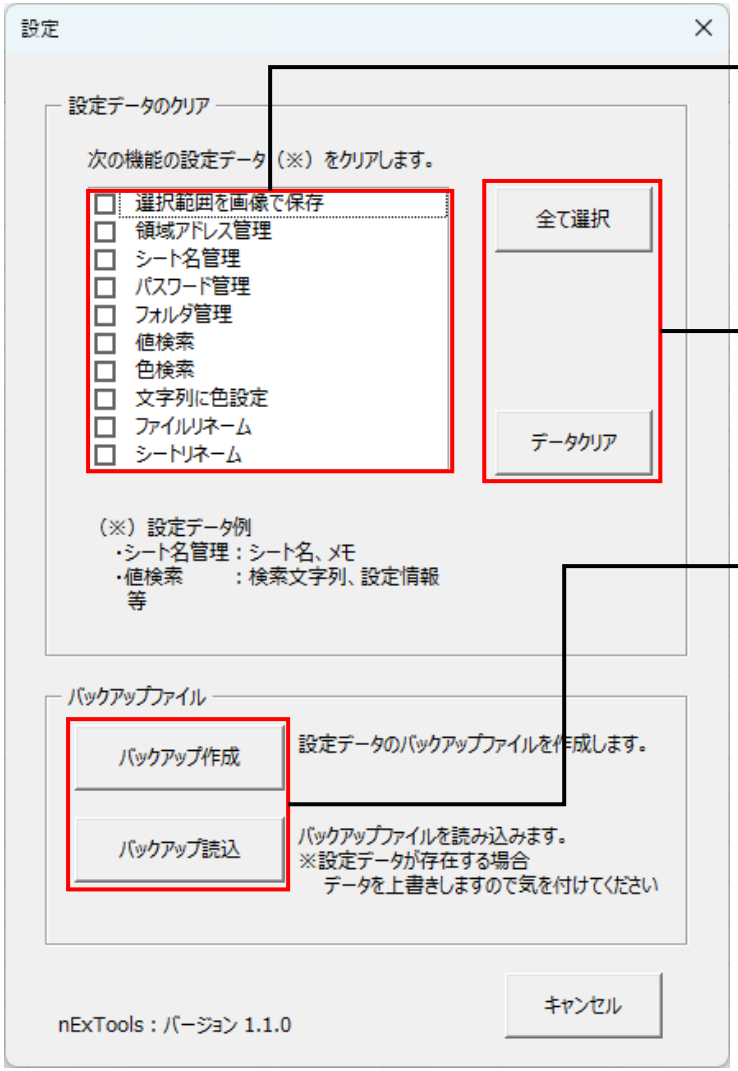
［キャンセル］
設定内容を登録せずにフォームを
終了します

《オプション》



コマンド	説明
情報	ブラウザを起動し nExTools アドインの web サイトを表示します。 インターネットに接続されていない場合やネットワークが制限されている環境等では情報を表示できません。
設定	設定フォームを表示します。 設定フォームから設定データのクリアやバックアップファイルを作成します。

●設定フォーム



機能一覧表示・選択エリア
設定データを利用する機能の一覧です
データをクリアする場合には対象の機能を選択します

［全て選択］
機能一覧表示・選択エリアの項目を全て選択します

［データクリア］
選択した項目のデータをクリアします

［バックアップ作成］
設定データのバックアップファイルを作成します

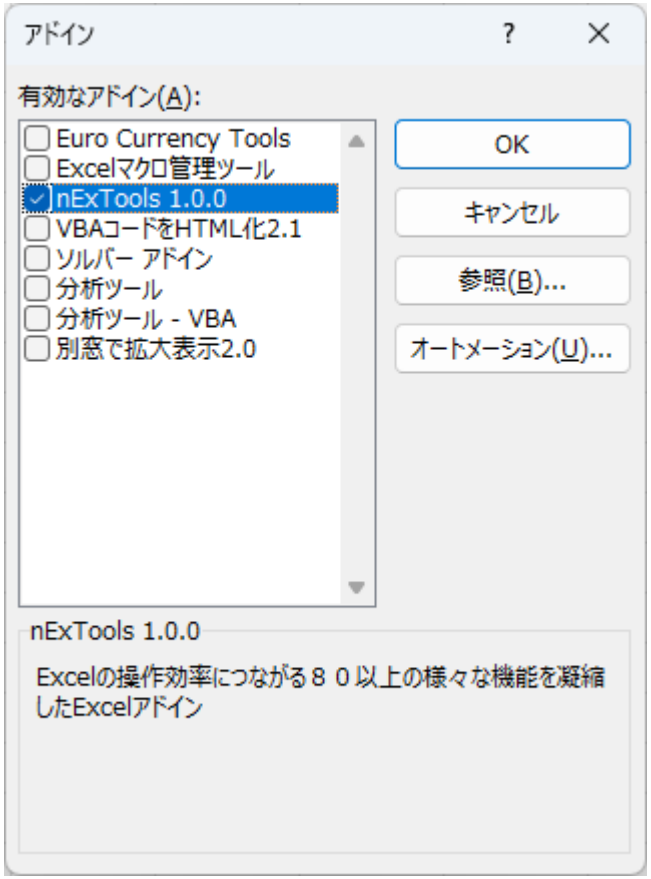
［バックアップ読込］
作成したバックアップファイルを読み込みます

設定データについて【重要】
各機能の設定データは端末のレジストリに保存されます。
そのためバージョンアップした nExTools アドイン を同じ端末使用する場合、設定データは継承されます（都度バックアップファイルを作成するは必要ありません）。
そのような仕様のため nExTools アドインをアンインストールする場合、アンインストール前に設定データをクリアしてください。

■アドインマネージャー

nExTools アドインの組み込み・組み込み解除はアドインマネージャーで行います。

●アドインマネージャー



アドインマネージャーには、インストールされているアドインが、一覧表示されます。

Excel に組み込んでいるアドインにはチェックが入っており、チェック外すことにより、組み込みの解除を行えます。

アドインマネージャーの表示手順

① ［ファイル］タブをクリックする

② ［オプション］をクリックする → Excel オプション画面が表示される

③ Excel オプション画面の［アドイン］項目を選択し［設定］ボタンをクリックする

なお、キー操作でアドインマネージャーを表示するには、

シート上で［Alt］→［T］→［I］の順番にキーを押します。

■バージョン情報・免責・問い合わせ等

最新バージョン

Version 1.2.1　2026/11/11　機能追加：［シート選択］＞［◀（前のシート）］機能/［▶（次のシート）］機能

機能追加：［シート選択］＞［直前シート］機能

動作確認

Windows11

Microsoft 365 MSO(バージョン 2511～) 32bit/64bit

著作権

「nExTools_1.2.1.xlam」「アドインインストール支援.xlsm」はフリーソフトですが、著作権は放棄していません。無断での再配布等はやめてください。

免責

「nExTools_1.2.1.xlam」「アドインインストール支援.xlsm」の開発には十分に気を付けていますが、使用により不具合が生じたとしても責任は負いません。
ツールのご使用はご自身の判断でお願いします。

問い合わせ先　他

問い合わせ　：問い合わせ、コメント、相談等ありましたら ▶こちらより お願いします。

バグ報告・要望　：バグ報告・要望がありましたら ▶こちらより お願いします。

ツール開発者サイト：Excel Tips for Learners

nExTools アドイン

開発者　：坂江